USB 接続

Mobile Data Adapter Cable

USB-9664P

取扱説明書

73124-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社PLANT コールセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- Apple,Macintosh,Power Macintosh,Mac,Mac OS は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- Getweb!は、web technology Corp.の商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

USB-9664P　取扱説明書
2000.Dec.11 73124-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2000 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにＶｅｒシールをお貼りください

Ｖｅｒシール

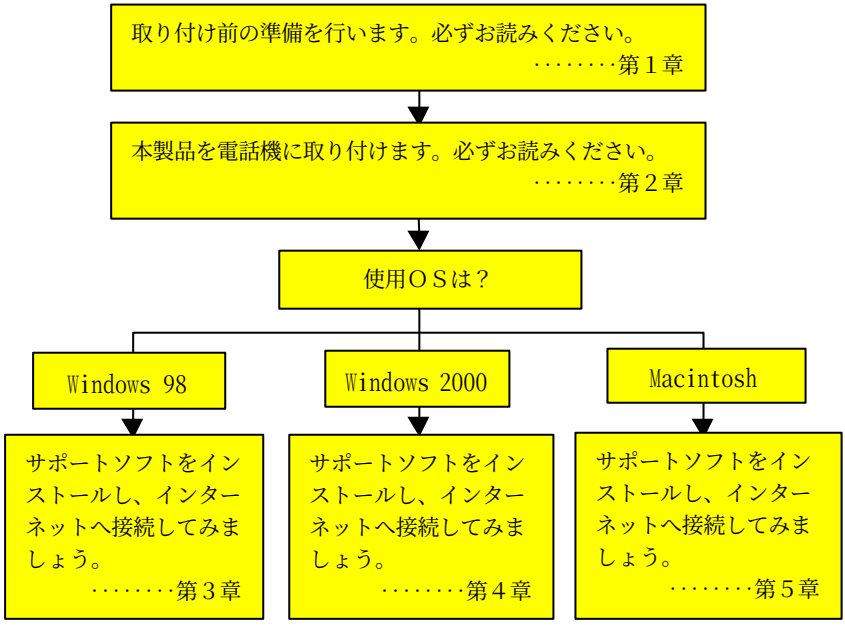
Ｖｅｒシール

はじめに

このたびはUSB接続モバイルアダプタケーブル『USB-9664P』をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用の前に、本書を良くお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

本書の見方

以下のフローに沿って、必要な箇所をお読みください。



本書での呼び方

呼び方	意　味
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System および Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Edition
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional
Macintosh	Apple iMac, iBook, Power Mac G4/G4 Cube,Power Macintosh G3, PowerBook G3
電話機	本製品が対応している、携帯電話や簡易型携帯端末（PHS など）の総称

はじめに…… i
目次…… iii
本製品のご紹介…… viii

1 ご使用になる前に

必ずお読みください

箱を開けたら …… 2
ユーザー登録 …… 3
対応している機種とＯＳ …… 4
注意していただきたいこと …… 6

2 電話機と接続する

必ずお読みください

各部の名称と働き …… 8
接続ケーブルの見分け方 …… 9
接続ケーブルを取り付ける ……11
電話機と接続する ……12
電話機から接続ケーブルを取り外す ……14

3 Windows 98 で使うには

本章の目次 ……17

インストール編（必須）

サポートソフトのインストール ……19
インストール終了後の確認と設定 ……24
インストールした情報を削除する場合 ……31

インターネット編

インターネットを楽しむまでの手順 ……33
必要なソフトウェアの確認 ……34
ダイヤルアップネットワークの設定 ……35
インターネットを楽しもう ……41

添付ソフト編

回線モニターを使う ……45
その他の添付ソフトを使う ……50

4 Windows 2000 で使うには

本章の目次 ……53

インストール編（必須）

サポートソフトのインストール ……55
インストール終了後の確認と設定 ……61
インストールした情報を削除する場合 ……68

インターネット編

インターネットを楽しむまでの手順 ……73
ダイヤルアップ接続の設定 ……74
インターネットを楽しもう ……83

添付ソフト編

添付ソフトを使う ……87

5 Macintosh で使うには

本章の目次 ……89

インストール編（必須）

Mac ＯＳのバージョンの確認 ……91
必要なファイルをコピーする ……93
パソコンへ接続する ……95
インストールした情報を削除する場合 ……97

インターネット編

インターネットを楽しむまでの手順 ……98
接続のための設定 ……99
インターネットを楽しもう …… 103

6 付　録

困ったときには＜目次＞ ····· 108
困ったときには＜内容＞ ····· 110
追加設定が必要な場合 ····· 124
ハードウェア仕様 ····· 126
用語解説 ····· 128

PLANT コールセンターへのお問い合わせ ····· 130
サポートソフトのバージョンアップ ····· 131
保証について ····· 132
修理について ····· 133

本製品のご紹介

● あらゆる電話機に対応した、４種類のケーブルを標準添付

PDC方式のデジタル携帯電話はもちろん、cdmaOne方式の携帯電話、PHS、H"（エッジ）端末、ドッチーモなど、対応電話機は多彩です。４種類のケーブルを標準添付しているので、種類の違う電話機を使い分けている場合でもＯＫ。電話機に応じたケーブルを選び、通信アダプタに差し込むだけです。

（※アナログ式の電話機ではご使用いただけません）

（※MacintoshではcdmaOneのPacketOneには対応しておりません）

● Windows 98、Windows 2000、Macintosh対応

● モバイルに最適なUSBポート＆低消費電流設計

USBポート対応なので、パソコンとの接続も簡単です。パソコン本体のバッテリに負荷をかけない低消費電流設計なので、ノートパソコンにもぴったり。

● 高速モバイル通信を実現

PDC方式の携帯電話では：最大28.8Kbpsのパケットデータ通信

（NTT ドコモ パケット通信サービス使用時）

最大9600bpsのデータ通信

最大9600bpsのG3 FAX通信

cdmaOne方式の携帯電話では：最大64Kbpsのパケットデータ通信

（PacketOne使用時）

最大14.4Kbpsのデータ通信

PHS、H"端末では：最大64Kbpsのデータ通信

● 通信を楽しくするソフトウェアを多数添付

□ 通信中の状況が一目でわかる「回線モニター」（Windows 98対応）
通信速度はもちろん、今月累計時間など、細かい情報が一目で確認できるソフトウェアです。インターネットのお供に。

□ ベストセラーFAXソフト「まいと～くFAX 2001 Lite」
（Windows 98/Windows 2000対応）
パソコン上で作成した文書やイラストを印刷しなくても、ダイレクト＆簡単に相手ファックスに送信できます（PDC方式携帯電話使用時のみ）。

□ ホームページ自動ダウンロードソフト「Getweb!」
（Windows 98/Windows 2000対応）
見たいホームページのURLを指定しておくだけで、自動的にダウンロードしてくれます。電話回線を切ってからゆっくりとホームページが閲覧できるので、電話料金の節約には欠かせないソフトです。

□ 「10円メールマスター」（Windows 98対応）
NTTドコモの電話機と接続し、パソコン上から10円メールを利用するためのソフトウェアです。

□ Lotus NOTESのモデム設定ファイル
Lotus NOTESでモバイル通信を行うための設定ファイルを添付。指定フォルダにコピーし、簡単な設定を行うだけです。



注意！

1．「10 円メールマスター」を使用するには、マスターネット（株式会社ゼロ）との契約が必要です。
2．本製品は、Macintosh 用として、モデム設定ファイル（Apple Remote Access CCL ファイル）およびドライバソフトのみ添付しております。通信ソフトウェアなどのアプリケーションは添付しておりませんので、別途ご用意ください。
3．Macintosh のFAX 通信には対応しておりません。

■ATコマンド準拠

□ Hayes社のATコマンドを採用。市販の通信ソフトを利用できます。



注意！

本書にはAT コマンドの使い方については記述しておりません。AT コマンドに関しては、「サポートソフト」CD-ROM ディスク内の\manual フォルダ内のReadme.txt ファイルを参照してください。

1 ご使用になる前に

この章では、本製品をご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、最初に必ずお読みください。



P2　箱を開けたら

箱の中に入っているものを確認してください。



P3　ユーザー登録

ユーザー登録の方法を説明してありますので、必ず、登録をお願いします。



P4　対応している機種とＯＳ

対応機種や対応OSについて説明します。お取り付けになる前に、ご使用のパソコンがこれらの条件を満たしているか確認してください。

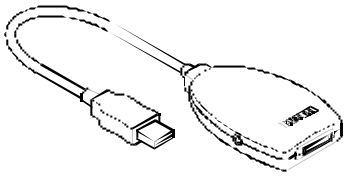


P6　注意していただきたいこと

取り付け時や使用時にしてはいけないことなどを説明しています。必ずお読みください。

箱を開けたら

中身を確認してください

内容物	詳細	個数
通信アダプタ	本体（ケーブル長約 20cm） 	1 個
電話機接続用 ケーブル	ケーブル長約 20cm 各ケーブルの見分け方は 9～10 ページ参照	4 本
サポートソフト （CD-ROM）ディスク	USB-9664P サポートソフト （「Getweb!」「10 円メールマスター」含む）	1 枚
その他	取扱説明書（本書）	1 冊
	「まいと～く FAX 2001 Lite」CD-ROM ディスク （Windows 用）	1 枚
	ハードウェア保証書	1 枚
	ユーザー登録カード	1 枚
	Ver シール	2 枚
	ハードウェアシリアル No.シール	1 枚
	安全で快適にお使いいただくために	1 冊

万が一、不足品がございましたら、弊社 PLANT コールセンターまでご連絡ください。

注意！

1．箱･梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

2．本製品には、Macintosh 用としてモデム設定ファイル（Apple Remote Access CCL ファイル）およびドライバソフトのみ添付しております。通信ソフトウェアなどのアプリケーションは添付しておりませんので、別途ご用意ください。Macintosh のFAX 通信には対応しておりません。）

ユーザー登録

お買い上げいただいた製品ごとに以下の手順で必ず登録を行ってください。

1 添付のVerシールを貼ってください。

ユーザー登録カード、本書の巻末に貼ってください。

2 添付のハードウェアシリアルNo.シールを貼ってください。

ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

3 ● オンライン登録する場合

(ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/regist)

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。

オンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を入力して、ユーザー登録を行ってください。

※ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

● ハガキで登録する場合

必要事項をご記入の上、弊社まで必ずご返送ください。

注意！

1. ユーザー登録の際、必要事項の入力漏れ（ユーザー登録カードの場合は、必要事項の記入漏れやシールの貼り忘れ等）があった場合は、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。

2. ハガキでの登録については、登録完了の通知は行っておりません。

対応している機種とＯＳ

本製品を使用できるパソコンおよび環境は以下の通りです。ご使用の機種や環境を再度ご確認ください。

■Windows ■

対応機種	MMX Pentium 200MHz 以上の CPU をもつ、以下の機種 ● NEC PC98-NX シリーズ ● DOS/V マシン （弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認を行っています。）
対応 OS （日本語版）	Windows 98（Second Edition 含む） Windows 2000
CD-ROM ドライブ	インストール時に必要。
USB コネクタ	本製品接続時に１つ必要（A タイプ）

■Macintosh ■

対応機種	Apple iMac, iBook, Power Mac G4/G4 Cube,Power Macintosh G3, PowerBook G3
対応 OS	Mac OS 8.6～9 （USB Manager 1.2 以降）
CD-ROM ドライブ	インストール時に必要。
USB コネクタ	本製品接続時に１つ必要（A タイプ）

注意！

1. **iMac のボンダイブルー（M6709J/A, M6709J/B）で本製品をお使いになる場合は、Mac OS 8.6 以降へのバージョンアップが必要です。バージョンの確認は、91 ページ【Mac OS のバージョンの確認】を参照してください。**
2. **本製品は、Macintosh のFAX 通信、およびcdmaOne のPacketOne には対応しておりません。**

■対応電話機■

下記の「注意」も合わせてご参照ください。

デジタル携帯電話	NTT ドコモ	● PDC 方式デジタル（800MHz、1.5GHz タイプ：201HYPER 以降） ● NTT ドコモ　パケット通信 ● ドッチーモ
	au	● PDC 方式デジタル ● cdmaOne 方式デジタル
	J-PHONE	● PDC 方式デジタル
	ツーカーグループ	● PDC 方式デジタル
PHS	NTT ドコモ	● PIAFS 32K/64Kbps ● ドッチーモ
	アステル	● PIAFS 32K
	DDI ポケット	● PIAFS 32K/64Kbps（H"端末、α-DATA32 対応電話機）



注意！

1．アナログ方式の携帯電話ではご使用いただけません。

2．一部の機種の電話機では正常に動作しない場合があります。動作確認済機種リストを弊社ホームページで公開しておりますので、ご確認ください。

URL:http://www.iodata.co.jp/products/usb/usb9664p.htm

3．FAX 送信時は、相手FAX が通話（留守電）とFAX 受信の自動切換タイプの場合、FAX 受信に切換が出来ず、送信が失敗してしまう場合があります。相手FAX をFAX 受信専用に変更してからFAX 送信をお試しください。

注意していただきたいこと

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては、本製品に同梱されている小冊子「安全で快適にお使いいただくために」を必ずお読みください。ここでは、その小冊子の記載以外の注意点について説明します。

1）以下の注意事項を守ってお使いください。

- 本製品は次のような場所で使用しないでください。
  - ・腐食性ガス（Cl_2,H_2S,NH_3,SO_2,NO_xなど）の多い場所
  - ・静電気の影響が強い場所
  - ・「安全で快適にお使いいただくために」に記載されている使用禁止場所
- 電話機の電波が弱い地域では正常にデータ通信できない場合があります。接続するときは電波の強い状態を確認してから行ってください。
- 本製品はアナログ方式の携帯電話ではご使用になれません。
- Macintoshでは、FAX通信には対応しておりません。
- Macintoshではcdma OneのPacketOneには対応しておりません。
- １台のパソコンに本製品を複数個接続して使用することはできません。
- 本製品と他のUSB機器（USBスピーカーなど）を同時に使用すると、処理速度が遅くなったり、送受信時にデータ抜けが発生する可能性があります。通信中にはそれらのUSB機器と併用しないでください。

2）本製品の内部の点検・修理は弊社修理センターにご依頼ください(133ページ参照)。改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対におやめください。

2 電話機と接続する

この章では、本製品を電話機に接続する方法を説明します。本書の図を見ながら、作業を行ってください。
なお、この章ではまだ本製品とパソコンは接続しません。

P8　各部の名称と働き

本製品の各部の名称と機能を説明します。

P9　接続ケーブルの見分け方

本製品には接続ケーブルが４本付いています。接続する電話機によって、使用する接続ケーブルが異なりますので、必ずご確認ください。

P11　接続ケーブルを取り付ける

使用する電話機に対応した接続ケーブルを本製品に接続する方法を説明します。

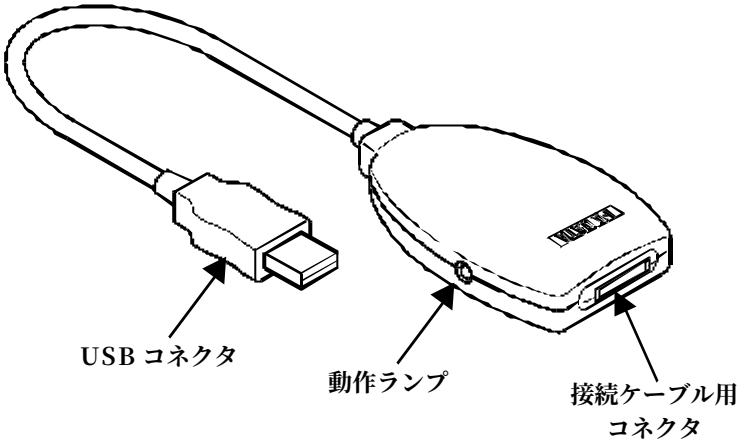
P12　電話機に接続する

本製品を電話機に接続します。電話機側の接続コネクタの位置は電話機によって異なりますので、電話機の取扱説明書も合わせて参照してください。

P14　電話機から接続ケーブルを取り外す

電話機に接続したケーブルを取り外す方法を説明します。

各部の名称と働き



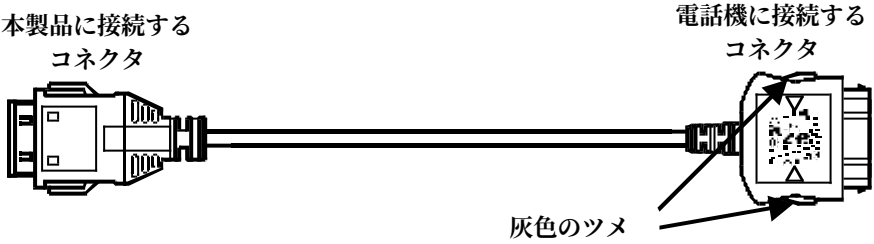
名称	働き
動作ランプ	本製品の動作状況を示します。 ● 緑色点灯：待機中 ● アンバー色点灯：ダイヤル中 ● 緑色点滅：データ通信中
USB コネクタ	パソコンの USB ポートへ接続します。
接続ケーブル用コネクタ	使用する電話機に合った接続ケーブルのコネクタを差し込みます。 使用する電話機に合った接続ケーブルの見分け方や取り付け方法は、9 ページ～を参照してください。

接続ケーブルの見分け方

本製品には接続ケーブルが４本添付されており、使用する電話機によって、接続ケーブルが異なりますので、必ず確認してください。接続ケーブルは、コネクタの形状で見分けることができます。

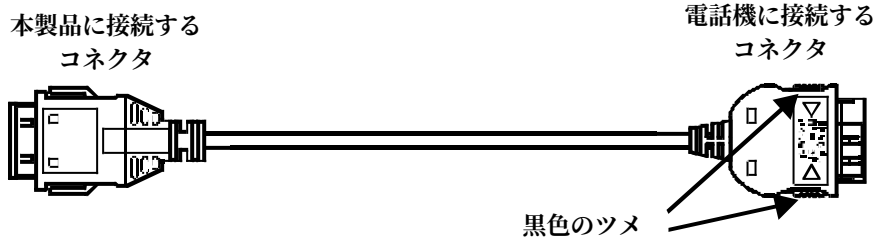
■ PDC方式の携帯電話、ドッチーモ、NTT ドコモ パケット通信の場合

コネクタの左右に灰色のツメがついているものをお使いください。



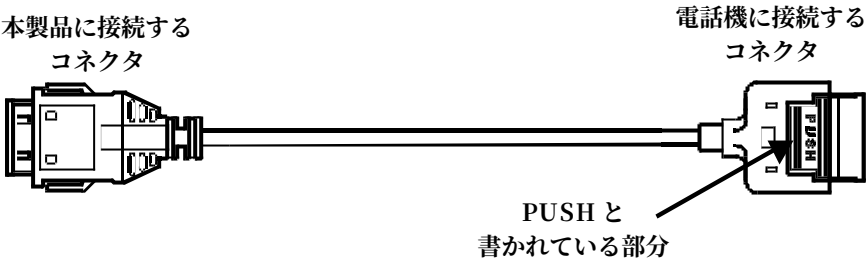
■ cdma0ne方式の場合

コネクタの左右に黒色のツメがついているものをお使いください。
PDC 方式用の接続ケーブルとコネクタの形状が似ていますが、cdma0ne 方式の接続ケーブルの方が電話機側のコネクタが小さく、左右のツメは黒色です。



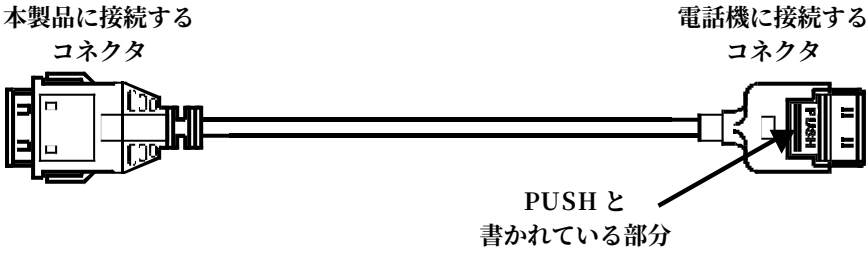
■ PHS（NTTドコモ、アステル）の場合

「PUSH」と書かれたコネクタのうち、コネクタが大きい方をお使いください。



■ DDIポケット端末（H"、feelH"、α-DATA32対応電話機）の場合

「PUSH」と書かれたコネクタのうち、コネクタが小さい方をお使いください。



接続ケーブルを取り付ける

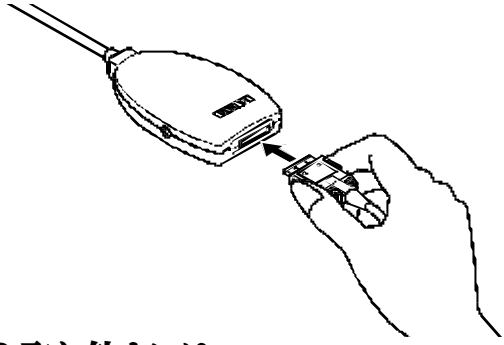
使用する電話機に合った接続ケーブルが確認できたら、本製品とその接続ケーブルを接続します。

■ 本製品に差し込む方のコネクタは

【接続ケーブルの見分け方】9〜10 ページで確認してください。

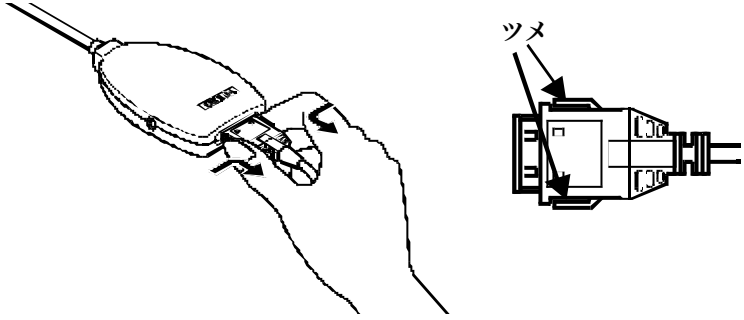
■ 本製品に差し込むには

カチッと音がするまで差し込んでください。入りにくいときは無理に挿入せず、コネクタの裏表や向きを確認してください。



■ 本製品から取り外すには

コネクタ左右の黒いツメを押しながら、まっすぐに引き抜きます。



電話機と接続する

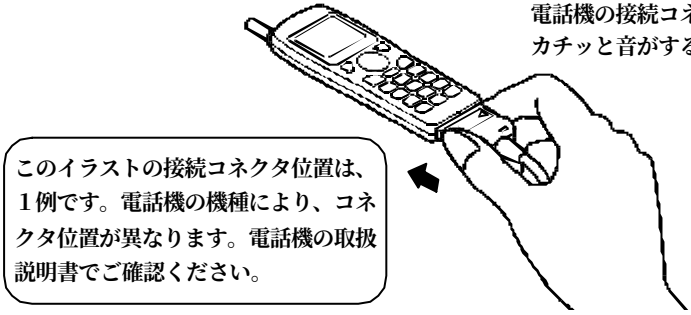
電話機と本製品を接続しましょう。ここでは、まだ本製品とパソコンは接続しません。

1 電話機の接続コネクタに付いているカバーを開けます。

電話機の接続コネクタの位置は、電話機の取扱説明書をご参照ください。カバー部分が取り外せる場合、カバーをなくさないように保管してください。

2 電話機の接続コネクタと本製品のケーブルを接続します。

カチッと音がするまで差し込んでください。入りにくいときは無理な力で挿入せず、コネクタの向きや裏表を確認してください。



注意！

1. **本製品と電話機を接続する場合は、コネクタの向きや裏表に注意してください。向きや裏表が違ったまま、無理に差し込むと、故障の原因になります。電話機によってコネクタの位置や向きが異なりますので、電話機の取扱説明書で必ず確認してください。**
2. **電話機から接続ケーブルを取り外す場合は14 ページ～を参照してください。**

次は、パソコンへのインストールです（まだ電話機の電源を入れる必要はありません）。インストールはご使用の環境によって異なりますので、必要なページを参照してください。

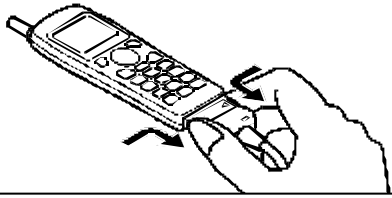
- Windows 98で使用する場合:【Windows 98で使うには】（17ページ）～
- Windows 2000で使用する場合:【Windows 2000で使うには】（53ページ）～
- Mac OSで使用する場合：【Macintoshで使うには】（89ページ）～

電話機から接続ケーブルを取り外す

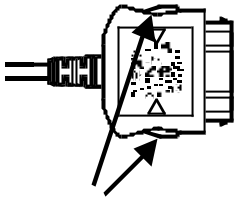
電話機から接続ケーブルを無理に取り外そうとすると、接続ケーブルやコネクタを傷める原因となります。取り外す場合は、必ず下記の通りに行ってください。

■ PDC方式の携帯電話、ドッチーモ、NTT ドコモ パケット通信の場合

コネクタの左右にある、灰色のツメを押しながら、まっすぐに抜いてください。



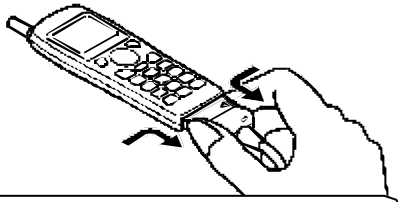
このイラストの接続コネクタ位置は1例です。
電話機の機種により、コネクタ位置が異なります。



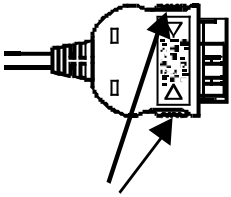
灰色のツメ

■ cdmaOne方式の携帯電話の場合

コネクタの左右にある、黒色のツメを押しながら、まっすぐに抜いてください。



このイラストの接続コネクタ位置は1例です。
電話機の機種によりコネクタ位置が異なります。



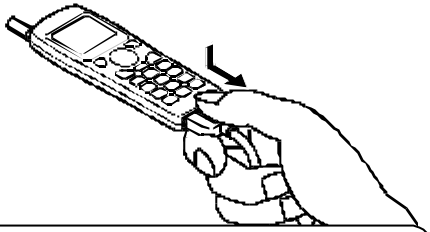
黒色のツメ

注意！

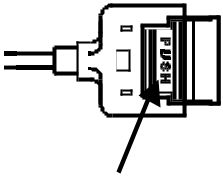
本製品を取り外す場合は、コネクタ左右のツメを押しながら、まっすぐに引き抜いてください。ツメを押さずに無理に引き抜くと、接続ケーブルやコネクタが破損する原因になります。

■ PHS（NTTドコモ、アステル）の場合

コネクタの「PUSH」と書かれた部分を押しながら、まっすぐに抜いてください。



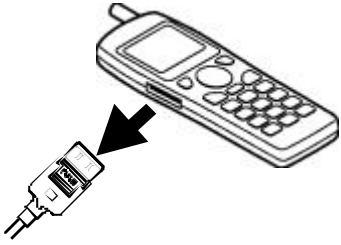
このイラストの接続コネクタ位置は１例です。
電話機の機種により、コネクタ位置が異なります。



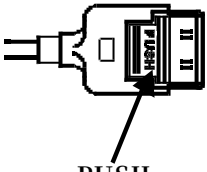
PUSH
と書かれている部分

■ DDIポケット端末（H"、feelH"、α-DATA32対応電話機）の場合

コネクタの「PUSH」と書かれた部分を押しながら、まっすぐに抜いてください。



このイラストの接続コネクタ位置は１例です。
電話機の機種により、コネクタ位置が異なります。



PUSH
と書かれている部分

注意！

本製品を取り外す場合は、PUSH ボタンを上下でつまんで（ボタンを押しながら）まっすぐに引き抜いてください。PUSH ボタンを押さずに無理に引き抜くと、接続ケーブルやコネクタが破損する原因になります。

MEMO

3 Windows 98 で使うには

この章では、本製品を Windows 98 で使用する場合のインストールからインターネット接続までの方法を説明します。

インストール編（必須）

本製品を Windows 98 で使用するときは、必ず行ってください。



P19　サポートソフトのインストール

サポートソフトのインストールを説明します。



P24　インストール終了後の確認と設定

正しくインストールできたかどうかの確認と、モデムの設定を行います。



P31　インストールした情報を削除する場合

本製品の使用を止める場合や、再インストールする場合には、インストールした情報を削除します。ここではその方法を説明します。

インターネットに接続するまでの方法を説明します。インターネットを使わないときや、接続経験者は読み飛ばしても結構です。



P33　インターネットを楽しむまでの手順

インターネットへ接続する場合に、必要な作業の流れを説明します。



P34　必要なソフトウェアの確認

インターネットへ接続するために必要なソフトウェアを確認します。



P35　ダイヤルアップネットワークの設定

インターネットを行うときに必要な設定を行います。



P41　インターネットを楽しもう

実際に本製品を使って、インターネットへ接続してみましょう。

本製品にはいろいろなソフトが添付されています。ここでは添付ソフトの紹介や説明を行います。必要に応じてお読みください。



P45　回線モニターを使う

通信中にリアルタイムで通信時間や通信速度などを表示するユーティリティです。



P50　その他の添付ソフトを使う

その他の添付ソフトを紹介します。

《インストール編》
サポートソフトのインストール

ここで説明するインストール作業は、はじめて本製品を接続したときだけ行います。使用する電話機に合った接続ケーブルを、本製品に接続してから、インストールを始めてください。（11 ページ～【接続ケーブルを取り付ける】参照）

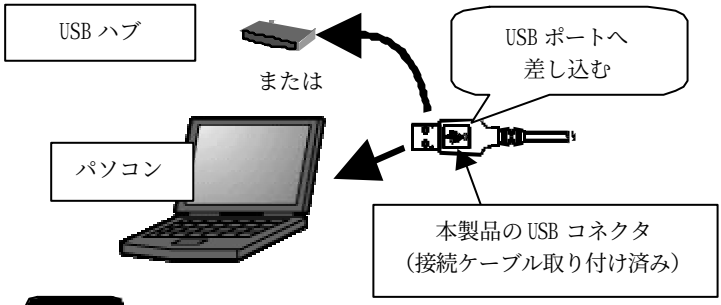
注意！

USB ポートが1つしかなく、CD-ROM ドライブをUSB ポートで使用している場合には、前もって「サポートソフト」CD-ROM ディスクのWin98 フォルダにあるファイルをハードディスクの適当なフォルダにコピーしてください。コピー前に「エクスプローラ」の[表示 メニュー→[フォルダオプション] → [表示 タブを選び、「すべてのファイルを表示する」をチェックしてください。以下のインストール時の手順 7(21 ページ) ではそのコピーしたフォルダ名を指定してください。

1 パソコンの電源を入れ、Windows 98 を起動します。

2 完全に Windows が起動してから、パソコン（または USB ハブ）の USB ポートに、本製品の USB コネクタを差し込みます。

USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

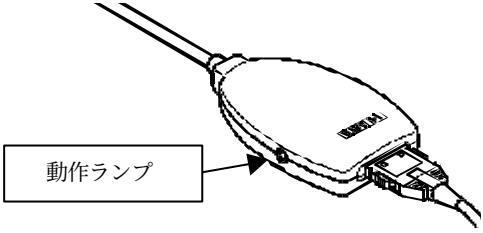


注意！

パソコン（またはUSB ハブ）のUSB ポートの位置は、お使いの機器の取扱説明書をご参照ください。

3 本製品の動作ランプが緑色に点灯することを確認します。

点灯しない場合は、正しく差し込まれていません。パソコンの USB ポートから抜いて、もう１度差し込んでみてください。



4 しばらくして下記の画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。

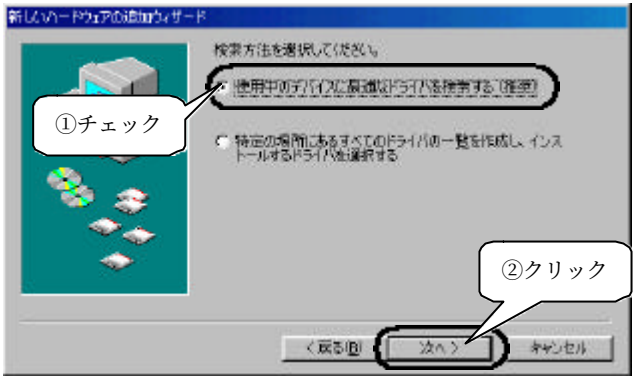


この画面が表示されない場合は…

【困ったときには】111 ページをご参照ください。

5

「使用中のデバイスに…」をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。



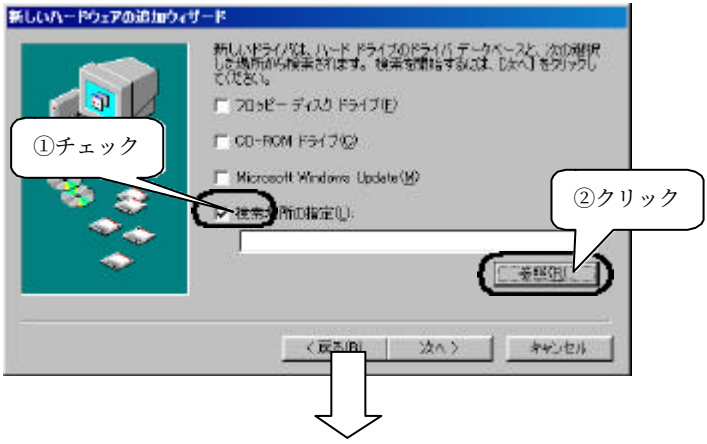
6

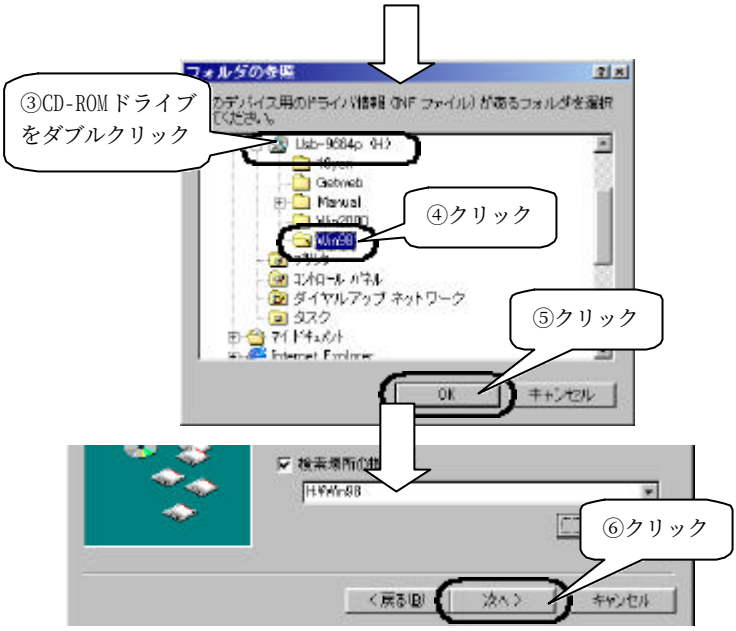
「サポートソフト CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。



7

「検索場所の指定」をチェックして、[参照]ボタンをクリックします。サポートソフトを挿入した CD-ROM ドライブの WIN98 フォルダを指定します。最後に[次へ]ボタンをクリックします。



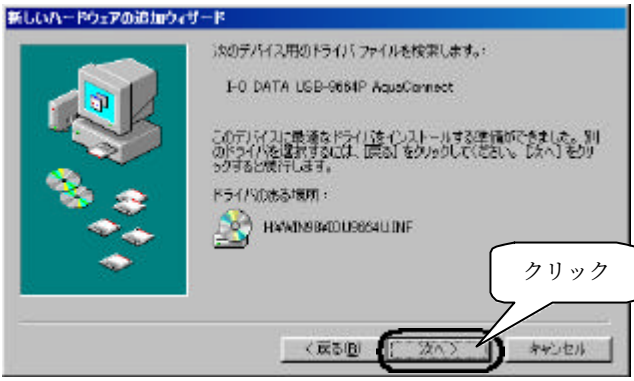


8 「更新されたドライバ」がチェックされ、「I-O DATA USB-9664P AquaConnect」と表示されていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。



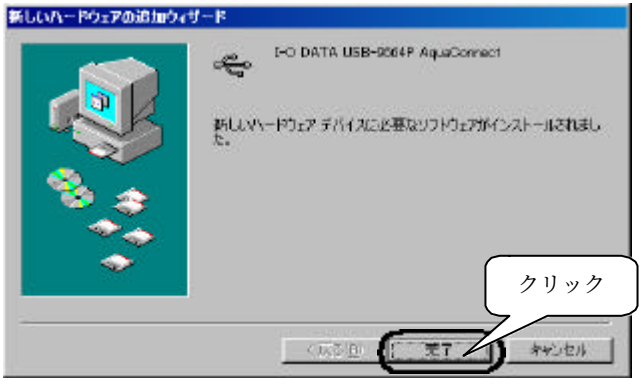
9

[次へ]ボタンをクリックします。



10

コピーを開始します。
しばらくして、下記の画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。この後、自動的にモデムが追加されます。



しばらくして表示画面が消えたら、インストールは終了です。
再起動後、正しくインストールできたかを確認し、モデムを設定します。
次ページ【インストール終了後の確認と設定】へお進みください。



《インストール編》
インストール終了後の確認と設定

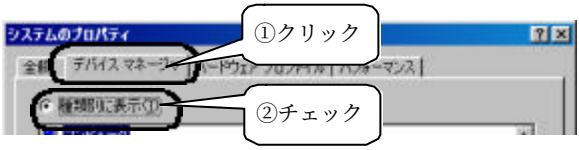
インストールが終了したら、パソコンが本製品を正しく認識したかどうかの確認と、モデムの設定を行います。

デバイスマネージャによる確認

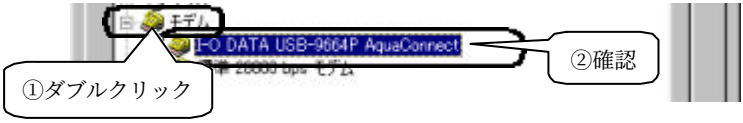
1 [マイコンピュータ]を右クリックして、「プロパティ」を選びます。



2 [デバイスマネージャ]タブをクリックし、[種類別に表示]をチェックします。



3 「モデム」をダブルクリックして、
『I-O DATA USB-9664P AquaConnect』が表示されていることを確認します。



「I-O DATA USB-9664P…」が
表示されない場合は…

【困ったときには】112 ページ
をご参照ください。

4 「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をダブルクリックして、『I-O DATA USB-9664P AquaConnect』が表示されていることを確認します。



「I-O DATA USB-9664P…」が表示されない場合は…

【困ったときには】113 ページをご参照ください。

5 [OK]ボタンをクリックして、「システムのプロパティ」画面を閉じます。

これでサポートソフトが正しくインストールされていることが確認できました。
次にモデムとしての確認および設定を行います。

モデムの確認と設定

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[モデム]アイコンをダブルクリックします。

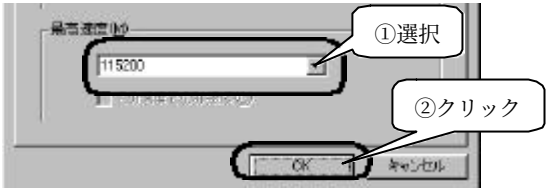


2 『I-O DATA USB-9664P AquaConnect』を選択して、[プロパティ]ボタンをクリックします。



3 最高速度を、選択肢中で一番速い速度に設定し、[OK]ボタンをクリックします。

最高速度には選択できる速度のうち、最高の速度（115200bps以上が望ましい）を設定しておくと、最大パフォーマンスが引き出せます。
（この速度は回線速度ではなくパソコンと本製品間の速度です。）



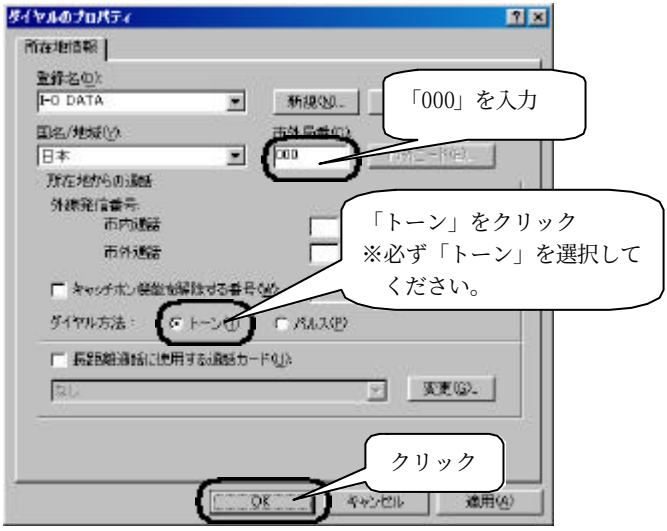
4 [ダイヤルのプロパティ]ボタンをクリックし、以下を設定後、[OK]ボタンをクリックします。

市内局番・・・・・・・・・・「000」などの存在しない値

電話番号と所在地情報で設定した市外局番が一致した時（つまり市内にダイヤルする時）に市外局番が自動的に省かれて発信することを避けるためです。

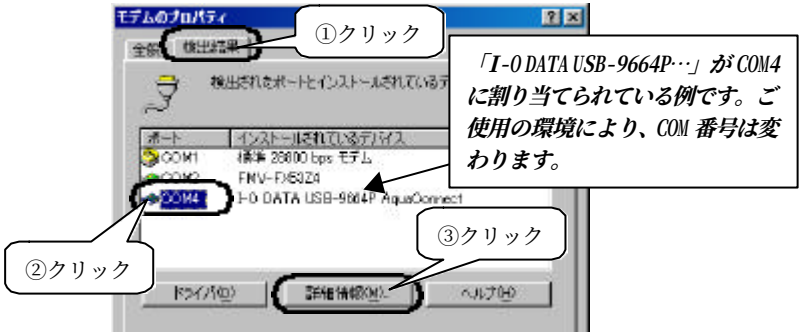
ダイヤル方法・・・・・・・「トーン」を選択

（本製品以外のモデムと併用する場合は、［新規］ボタンをクリックしてから新しい登録名を入力してください。）



5

[検出結果]タブをクリックします。「I-O DATA USB-9664P AquaConnect」が表示されているポート（下記例では COM4 の部分）をクリックし、[詳細情報]ボタンをクリックします。
COM の後の数字はお使いの環境によって異なります。



6

「モデムと通信しています」と表示され、しばらくして下記のように表示されます。確認後、[OK] ボタンをクリックします。

コマンド欄に「AT」から始まる英数字が表示されることを確認してください。
表示されたら、本製品は正常に認識されています。
※応答欄に「ERROR」と表示されますが問題ありません。



※応答欄に表示される内容は、ご使用の接続ケーブルによって異なります。

「ポートが開けません」などと
表示された場合は…

【困ったときには】113 ページ
をご参照ください。



注意！

1. **この通信テストはパソコンと本製品間のテストであり、電話機を介して接続するテストではありません。**
2. **ポートの情報には最高速度として「115 Kボー」と表示されますが、実際の端末速度（パソコンと本製品間の速度）は、26 ページの*3* で指定した速度です。**
3. **応答に「ERROR」と表示される場合がありますが、動作上問題ありません。**
4. **割り込み、アドレスには「0」と表示されますが、動作上問題ありません。**

7 [閉じる]ボタンをクリックし、「ﾓﾃﾞﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」画面を閉じます。

これで、本製品がパソコンに正しく認識され、使用できることが確認できました。
１度これらのインストールを行えば、今後は本製品の USB コネクタを差し込むだけで使えるようになります。本製品を使わないときは USB コネクタを抜いても構いません。
本製品の使用を中止したいときや、もう１度インストールをやり直したいときは、31 ページからの【インストールした情報を削除する場合】をご参照になり、サポートソフトのアンインストールを行ってください。

AT コマンドによる追加設定が必要な場合は…

お使いの電話機や通信方式により、追加設定が必要な場合があります。
以下の場合は必ずご参照ください。

- パケット通信対応電話機（NTT ドコモ 208/209/302 シリーズ、cdmaOne など）を使用する場合
- PHS、H"で 64K/32K の通信方式を替えたい場合
- ドッチーモを使用する場合※

※本製品を使用してドッチーモによる通信をする場合、PDC 方式と PHS は自動的に切り替えることはできません。ここで説明する AT コマンドの入力により切り替える必要があります。

各パターンでの必要な AT コマンドは、124 ページ【追加設定が必要なケース(AT コマンド/電話番号末尾による設定】の「AT コマンド」欄をご参照ください。

1 【追加設定が必要な場合】(124 ページ) をご参照いただき、必要な追加設定の AT コマンドをご確認ください。

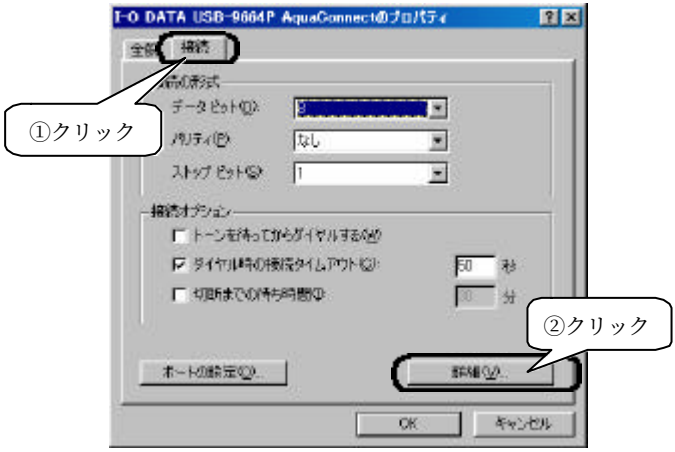
2 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、
[モデム]アイコンをダブルクリックします。



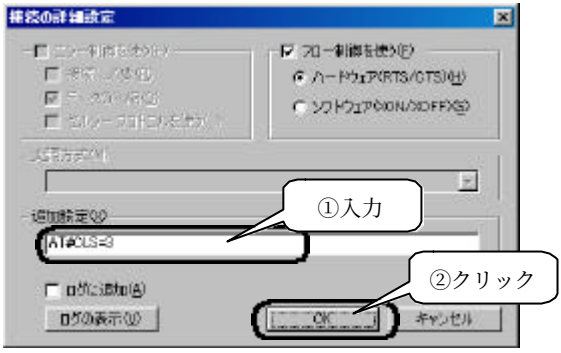
3 『I-O DATA USB-9664P AquaConnect』を選択して、[プロパティ]ボタンをクリックします。



4 [接続]タブをクリックし、[詳細]ボタンをクリックします。



5 追加設定欄に、必要なATコマンドを入力し、[OK]ボタンをクリックします。



ドッチーモなどの複合機で、PHS 通信（フォールバックなし）をする場合の例

注意！

1. **追加設定欄に入力する文字はすべて半角文字で入力してください。**
2. **追加設定欄に入力するAT コマンドの意味や詳細は、サポートソフトCD-ROMのmanual フォルダにある「readme.txt」を参照してください。**

6 開いている画面をすべて閉じます。

本製品でインターネットを楽しみたい方のために、33 ページから【インターネット編】を用意しました。インターネットへの接続方法をわかりやすく説明してあります。はじめてインターネットをご使用になる方は是非、ご参照ください。



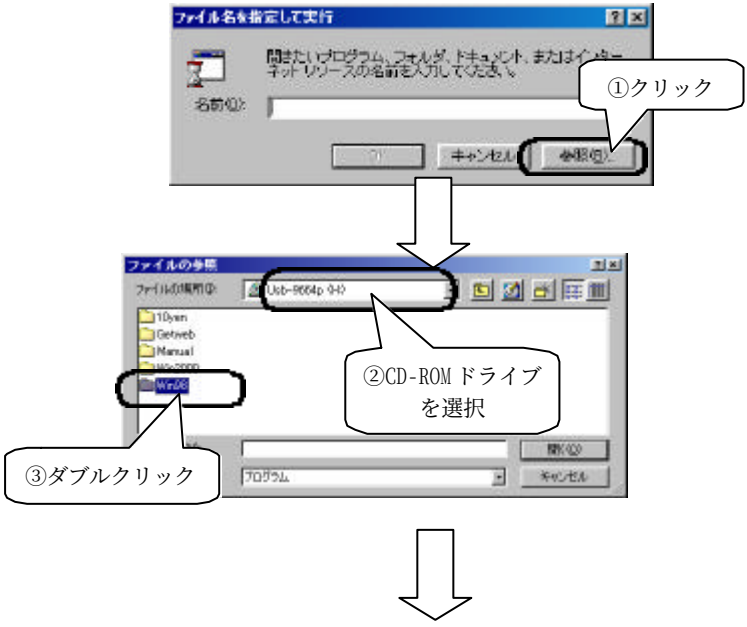
《インストール編》
インストールした情報を削除する場合

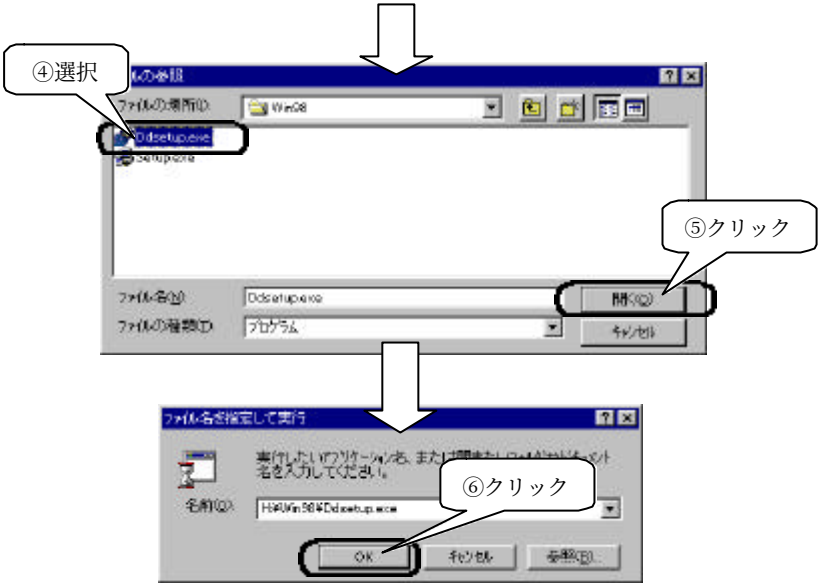
本製品の使用を中止したいときや、インストールをもう１度やり直すときは、インストールした情報を削除する（アンインストール）必要があります。

1 本製品が使用中でないことを確認し、パソコンの USB ポートから本製品を取り外します。

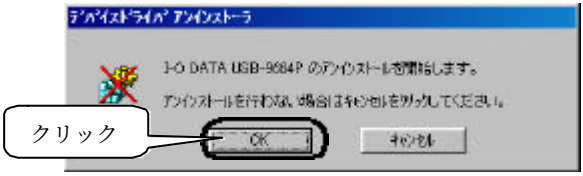
2 サポートソフト CD-ROMを CD-ROMドライブに挿入します。

3 [スタート]→[ファイル名を指定して実行]を選び、サポートソフトの[WIN98]フォルダにある[Ddsetup.exe]を起動します。

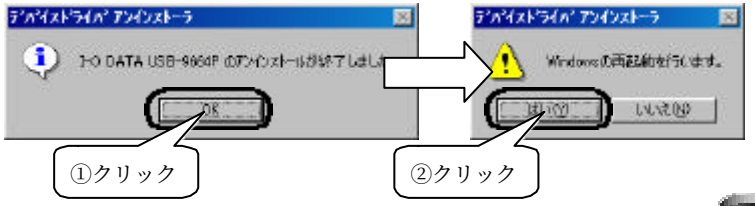




4 [OK]ボタンをクリックします。



5 アンインストールが終わったら、パソコンを再起動します。





これでアンインストールは完了です。

《インターネット編》
インターネットを楽しむまでの手順

ご使用のパソコンではじめてインターネットを行うときは、下記の手順通り、順番に行ってください。ご使用のパソコンでインターネットを行ったことがある場合は、35 ページ【ダイヤルアップネットワークの設定】から行ってください。

プロバイダと契約する

インターネット・サービスを受けるために、商用プロバイダとダイヤルアップ IP 接続の契約を行ってください。
契約後、接続のためのユーザー名，パスワード、接続先の電話番号などをプロバイダから教えてもらいます。接続にはこれらの情報が必要です。

↓

必要なソフトウェアの確認（34ページ）

契約したプロバイダと接続するときに必要となるソフトウェア「ダイヤルアップネットワーク」および「TCP/IP プロトコル」（ともに Windows 98 標準ソフト）がインストールされていることを確認します。
インストールされていないときは、114 ページ～を参照してインストールします。

↓

ダイヤルアップネットワークの設定（35ページ）

本製品を使ったダイヤルアップネットワークを設定します。
本製品をはじめて使う場合は必ず行ってください。

↓

インターネットを楽しもう（41ページ）

本製品を使ってダイヤルアップし、インターネットへ接続してみましょう。

《インターネット編》
必要なソフトウェアの確認

ダイヤルアップネットワークの確認

1 [スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]の中に「ダイヤルアップネットワーク」が表示されることを確認します。



ダイヤルアップネットワークが
表示されない場合は…

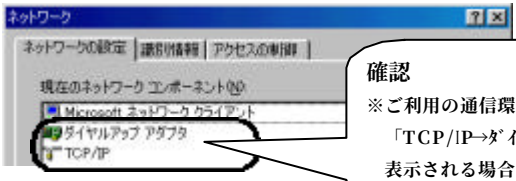
【困ったときには】114 ページ
をご参照ください。

TCP/IP プロトコルの確認

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。



2 「ダイヤルアップアダプタ」と「TCP/IP」があることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。



ﾀﾞｲﾔﾙｱｯﾌﾟｱﾀﾞﾌﾟﾀや TCP/IP が
表示されない場合は…

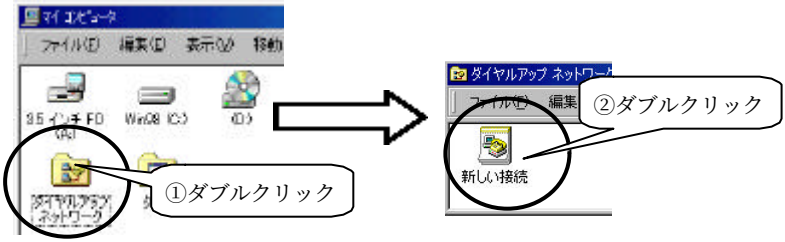
【困ったときには】116 ページ
をご参照ください。

《インターネット編》
ダイヤルアップネットワークの設定

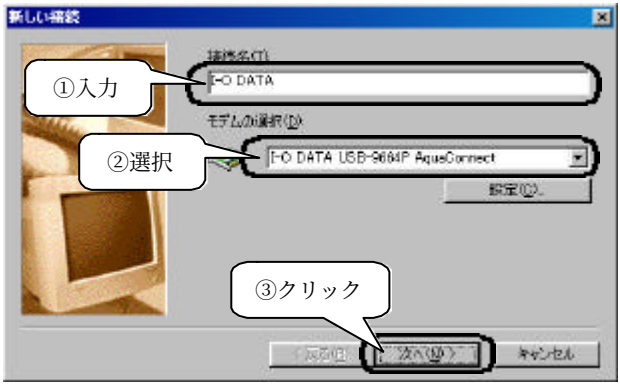
すでにダイヤルアップネットワークの設定を行っていて、使用するモデムや接続先の電話番号を変更する場合は 39 ページ【設定を変更するとき】を参照してください。はじめてダイヤルアップネットワークの設定を行うとき、または、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合は、下記の操作を行います。

新しい設定を作るとき

1 [マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク]を開き、[新しい接続]アイコンをダブルクリックします。

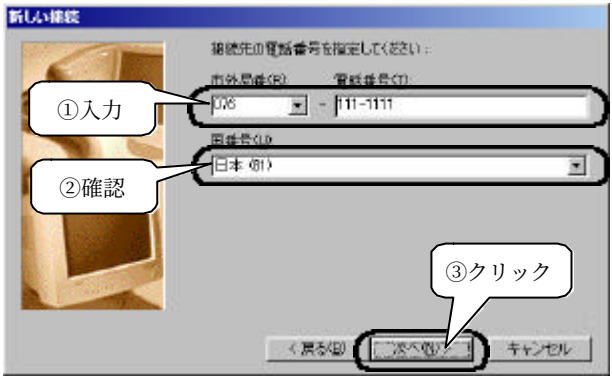


2 接続名（任意）を指定し、モデムの選択欄から「I-O DATA USB-9664P AquaConnect」を選び、[次へ]ボタンをクリックします。



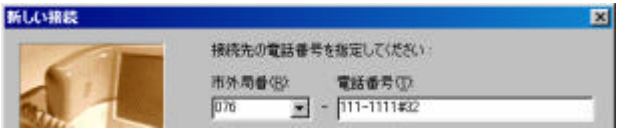
3 接続先（プロバイダ）の電話番号を入力し、 [次へ]ボタンをクリックします。

接続先の電話番号については下記の参考を必ずお読みください。また、国名が日本になっていることも確認してください。



参考

1. **設定する接続先（電話番号）はお使いの電話機や通信方式によって異なります。**
   ・携帯電話（cdmaOne 含む）、ドッチーモでPDC 通信をするとき:
   一般のモデムと同じ接続先
   ・PHS、H"、ドッチーモでPHS 通信をするとき:PIAFS 1.0/2.0/2.1）対応の接続先
   ・パケット通信をするとき: パケット通信に対応している接続先
   詳しいことはプロバイダにお問い合わせください。
2. **お使いの電話機や通信方式により、電話番号の末尾に追加設定が必要な場合があります。124 ページの【追加設定が必要な場合】をご参照いただき、追加設定が必要かどうかお調べください。電話番号末尾欄に設定文字が書かれている場合は、下記のように電話番号に追加してください。**
   なお、追加設定は新しい接続を作成した後でも行うことができます。その場合は、39 ページ【設定を変更するとき】を参照してください。



PHS で 32K 対応のアクセスポイントに接続する場合の例

4 下記の画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

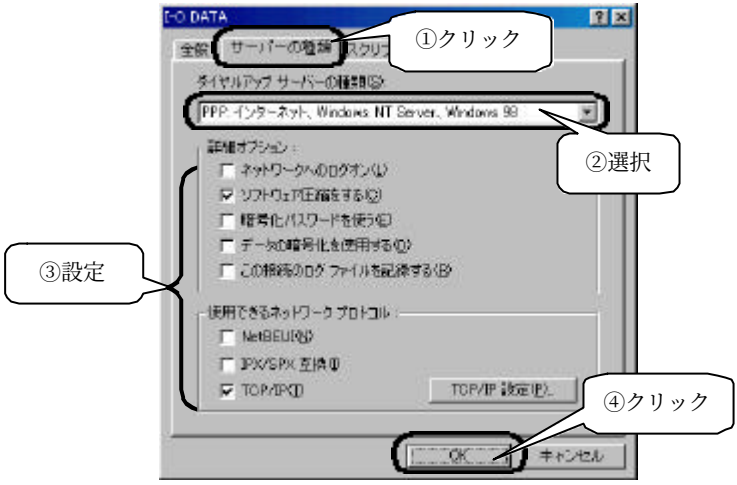
新しいアイコンが指定した接続名で作成されます。



5 新しく作成されたアイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。



6 [サーバーの種類]タブをクリックし、下記のように設定して、[OK]ボタンをクリックします。



注意！

プロバイダによっては、「TCP/IP 設定」ボタンをクリックし、IP アドレスの設定が必要な場合もあります。必要な設定内容については、契約したプロバイダにご確認ください。

これでダイヤルアップネットワークの設定は終了です。41 ページからの【インターネットを楽しもう】を参照して、実際にインターネットを行ってみましょう。

設定を変更するとき

1 [マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク]を開き、変更したい接続のアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。



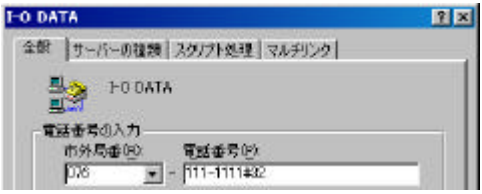
2 接続先の電話番号を入力し、接続の方法として「I-O DATA USB-9664P AquaConnect」を選びます。
設定後、[OK]ボタンをクリックします。

接続先の電話番号については次ページの参考を必ずお読みください。



参考

1. **設定する接続先（電話番号）はお使いの電話機や通信方式によって異なります。**
   ・携帯電話（cdmaOne 含む）、ドッチーモでPDC 通信をするとき:
   一般のモデムと同じ接続先
   ・PHS、H"、ドッチーモでPHS 通信をするとき:PIAFS（1.0/2.0/2.1）対応の接続先
   ・パケット通信をするとき: パケット通信に対応している接続先
   詳しいことはプロバイダにお問い合わせください。
2. **お使いの電話機や通信方式により、電話番号の末尾に追加設定が必要な場合があります。124 ページの【追加設定が必要な場合】をご参照いただき、追加設定が必要かどうかお調べください。電話番号末尾欄に設定文字が書かれている場合は、下記のように電話番号に追加してください。**



PHS で 32K 対応のアクセスポイントに接続する場合の例

これでダイヤルアップネットワークの設定は終了です。次ページからの【インターネットを楽しもう】を参照して、実際にインターネットを行ってみましょう。

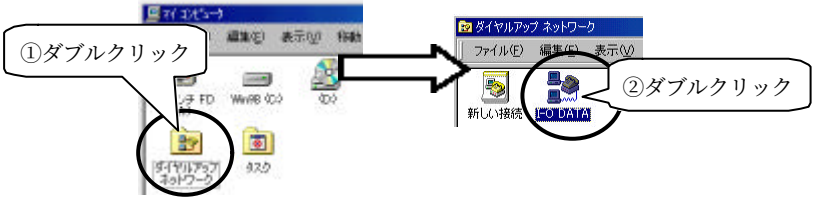
《インターネット編》
インターネットを楽しもう

電話機を本製品に接続し、電話機の電源が入っていることを確認し、電波の状態が良好なことを確認してください。

注意！

1. **本製品の電話機への接続は、電話機の電源が入っている状態でも問題ありません。**
2. **電話機の電波が弱い場合は正常に接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを確認してから、接続してください。**

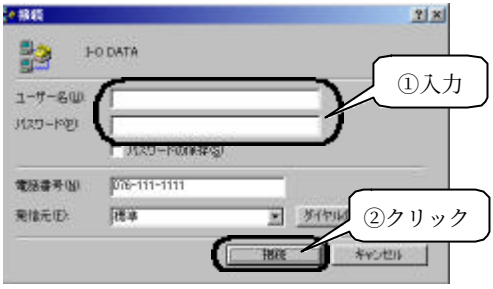
[マイコンピュータ]→[ダイヤルアップネットワーク]を開き、作成した接続のアイコンをダブルクリックします。



2

プロバイダから通知されたユーザー名とパスワードを入力し、電話番号が市外局番から表示されていることを確認後、[接続]ボタンをクリックします。

[接続]ボタンをクリックすると、電話機が指定した電話番号にかかりプロバイダと通信を開始します。電話機の液晶表示を確認してください。



注意！

1. **パスワードは「*****」と表示され、入力内容が確認できないので、アルファベットの大文字小文字などを間違えないように注意してください。**
2. **他のモデムも併用している場合、発信元として本製品用の所在地情報（26 ページの 4 で設定した登録名）を選択してください。**
3. **[パスワードの保存] をチェックすると、次回からパスワードが「＊」印で表示されるので、パスワードを入力する必要がありません。セキュリティの必要に応じてお使いください。**

3 しばらくして「... に接続中」という画面が消えたら、完了です。

「現在…に接続しています」という画面が表示された場合は［今後、このダイアログ....］をチェック後、［閉じる］ボタンをクリックしてください。
パソコン画面右下のタスクトレイに［接続インジケータ］が表示されます。



［接続インジケータ］が
表示されない場合は…

【困ったときには】119 ページをご参照ください。

4 ブラウザや電子メールソフトを起動してお楽しみください。

接続中は、ずっと［接続インジケータ］が表示されています。

5 インターネット利用が終わったら、画面右下の[接続インジケータ]をダブルクリックし、[切断]ボタンをクリックします。

これで電話回線が切断され、画面右下の[接続インジケータ]が消えます。
電話機の通話も自動的に切断されるので、液晶表示を見て通話が終わっていることを確認してください。



注意！

1. **ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず[切断] ボタンをクリックしてください。電話機を確認して、通話が終わっていること、また、[接続インジケータ] が消えることを必ずご確認ください。**
2. **ここで表示される接続速度（上図の例では115,200bps ）はパソコンと本製品間の通信速度になります（26 ページの 3 で指定した値）。**
3. **電話機の通話だけを切ってもパソコン側の通信は終了しません。必ずパソコン側で切断してください。**
4. **本製品と他のUSB 機器（USB スピーカーやUSB モデム[弊社製USB-PM560] など）を同時に使用すると、処理速度が遅くなったり、送受信時にデータ抜けが発生する可能性があります。通信中にはそれらのUSB 機器を使用しないことをおすすめします。**

インターネットをご体験いただけましたか。
これからも、本製品でインターネットをお楽しみください。



《添付ソフト編》
回線モニターを使う

回線モニターは、通信中の状況や接続時間や実際の通信速度などを確認できるソフトウェアです。必要に応じて、インストールしてください。

注意！

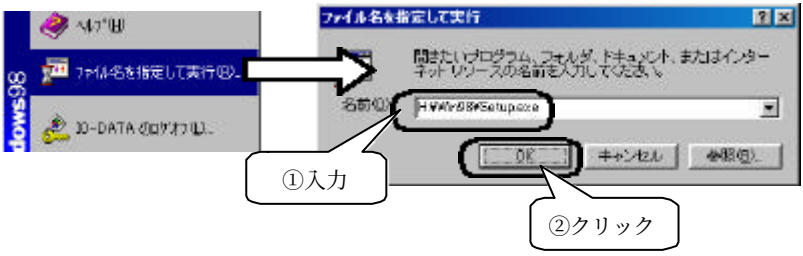
FAX 通信時は通信中の状況や通信速度などを正しくモニタリングできません。インターネット接続時やパソコン通信時にご利用ください。

回線モニターのインストール

1 「サポートソフト」ディスクを CD-ROM ドライブに入れます。

2 [スタート]→[ファイル名を指定して実行]を選び、サポートソフトの「SETUP.EXE」を起動します。

名前欄に、[CD-ROM ドライブ名:]\Win98\Setup.exe と入力し、[OK]ボタンをクリックします。（お使いの CD-ROM ドライブ名がわからない場合は、「マイコンピュータ」を開いてご確認ください。）



3 画面の指示にしたがって、インストールを進めてください。

途中で「スタートアップへの登録」画面が表示されますが、回線モニターを手動で起動したいときはチェックを外してください。

回線モニターを起動する

回線モニターは通信を開始する前に起動してください。通信開始後に起動しても、モニタリング（通信状態の監視や時間表示など）しません。

1 [スタート]→[プログラム]→[I-O DATA モデムツール]→[回線モニター]を起動します。



2 回線モニターの画面が表示されます。

この時点ではまだ通信が開始されていないので、今月累計接続時間だけが表示されています。

3 ダイヤルアップネットワークを起動するなど、通信を開始すると、モニタリングを始めます。



表示内容		意味
インジケータ	ＳＤ	データ送信中に赤ランプ点灯
	ＲＤ	データ受信中に赤ランプ点灯
	ＲＩ	RING 検出したら赤ランプ点灯
	ＣＤ	キャリア検出したら赤ランプ点灯
	ＯＨ	オフフック中に赤ランプ点灯
	ＤＲ	データセットレディ状態で赤ランプ点灯
	ＣＳ	データ送信許可状態で赤ランプ点灯
送受信レベル	ＳＤ	送信レベルを緑色のランプで表示
	ＲＤ	受信レベルを緑色のランプで表示

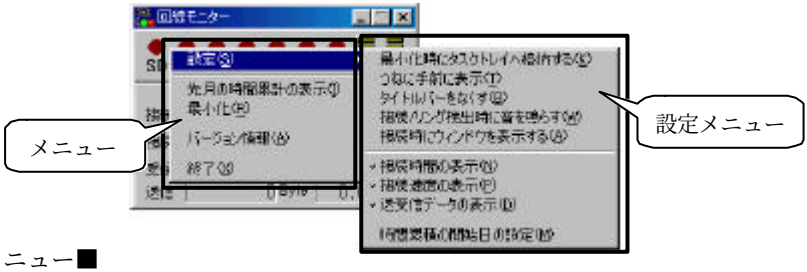
表示内容		意味
接続時間	今回	今回の接続時間（時：分：秒）
	今月累計	今月になってからの接続時間合計（時：分：秒） ただし、回線モニター起動中の接続時間のみ集計
接続速度		現在、接続している通信速度 パソコンと本製品間の通信速度が表示されます。回線速度（9600bps）は表示されません。
受信	Byte	今回の接続の受信データ量（バイト）
	KB/s	現在の受信データの転送速度（K バイト/秒）
送信	Byte	今回の接続の送信データ量（バイト）
	KB/s	現在の送信データの転送速度（K バイト/秒）

4 回線モニターを終了するには、回線モニター画面の[終了]アイコンをクリックします。



回線モニターの各種設定

回線モニター画面で右クリックすると、設定などのメニューが表示されます。



■メニュー■

メニュー項目	意味
設定	各種設定メニューを表示します。
先月の時間累計の表示	先月の接続時間合計を表示します（ただし、回線モニター起動時の接続時間のみ対象）。
最小化	回線モニターを最小化します。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。
終了	回線モニターを終了します。

■設定メニュー■

メニュー項目の先頭に「レ」印が表示されている状態がＯＮです。

メニュー項目	ＯＮのときの機能
最小化時にタスクトレイへ格納する	最小化したときに、タスクバーでなく、タスクトレイにアイコンを表示します。 《タスクトレイ設定で最小化した時》  このアイコンをダブルクリックすると　回線モニター画面が再表示されます。
	初期値：ＯＦＦ（＝タスクバー設定）
つねに手前に表示	常に他のウィンドウより手前に回線モニター画面を表示します。
	初期値：ＯＦＦ（＝手前表示しない）
タイトルバーをなくす	タイトルバーを非表示にします。
	初期値：ＯＦＦ（＝タイトルバーあり）
接続/リング検出時に音を鳴らす	接続時（CD/OH 検出時）とリング検出時（RI 検出時）に音を鳴らします。
	初期値：ＯＦＦ（＝音を鳴らさない）
接続時間の表示	接続時間（今回、今月累計）を表示します。
	初期値：ＯＮ（＝表示する）
接続速度の表示	接続速度を表示します。
	初期値：ＯＮ（＝表示する）
送受信データの表示	送受信データ量と転送速度を表示します。
	初期値：ＯＮ（＝表示する）
時間累積の開始日の設定	接続時間の累計を行うときに、月の開始日を設定します。電話料金計算などの締日と合わせることができます。
	初期値：１日

回線モニターを削除するには

インストールした回線モニターを削除したい場合は、回線モニターが起動されていないことを確認してから、以下の作業を行ってください。

1 [スタート]→[コントロールパネル]を開き、[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。

2 『I-O DATA モデムツール』を選択し、[追加と削除]ボタンをクリックします。



3 画面の指示にしたがって、処理を進めてください。

これでアンインストールは完了です。



《添付ソフト編》
その他の添付ソフトを使う

本製品にはいろいろなソフトウェアが添付されています。ここではそれらの添付ソフトを目的別に紹介します。必要に応じてお使いください。

以下の添付ソフトの使用方法については、弊社ではサポートしておりませんのであらかじめご了承ください。

● パソコンからダイレクトにFAX を送信したい（携帯電話使用時のみ）
まいと～くFAX 2001 Lite

FAX の送受信用ソフトウェア「まいと～く FAX 2001 Lite」※をご利用ください。「まいと～く FAX 2001 Lite」をインストールすれば、パソコン上で作成した文章やイラストを、プリントアウトせずに、簡単＆ダイレクトに相手の FAX に送信できます。FAX 番号を登録しておけば、一斉送信もＯＫ。プリントアウトしないので、とてもきれいに送信できます。

※インストール方法、その他詳細は、「まいと～くFAX 2001 Lite」 CD-ROM 内のオンラインマニュアルおよびヘルプを参照してください。



注意！

1. **FAX の通信制御手順（モデムクラス）はclass1 ECM 有にチェックを付けて使用してください。**
2. **「まいと～くFAX 2001 Lite」のサポートは株式会社インターコムで行っております。詳細は「まいと～くFAX 2001 Lite」パッケージを参照してください。**
3. **「まいと～くFAX 2001 Lite」のサンプル原稿や画像が入った原稿など、階調を持つ原稿を送信すると、相手FAX によっては正常に送信できない場合があります。階調のあまり無い原稿の送信をおすすめします。**
4. **FAX 送信時は、相手FAX が通話（留守電）とFAX 受信の自動切換タイプの場合、FAX 受信に切換が出来ず、送信が失敗してしまう場合があります。相手FAX をFAX 受信専用に変更してからFAX 送信をお試しください。**

● 通信料を気にせず、ホームページをゆっくり見たい
Getweb!

ホームページ自動ダウンロードソフト「Getweb!」をご利用ください。
「Getweb!」は、あらかじめＵＲＬを登録しておくことにより、自動的にそのホームページをダウンロードするソフトウェアです。ダウンロード後、電話回線を切ってから、ゆっくりホームページを見ることができ、データ通信料の節約になります。

※詳細は、サポートソフトCD-ROM 内の Getweb フォルダのReadme またはヘルプファイルを参照してください。

● 10 円メールを使いたい
10 円メールマスター

パソコンで 10 円メールが利用できるユーティリティ「10 円メールマスター」※をご利用ください。NTT ドコモのデジタル電話機を使用して、通話料金 10 円でメールの送受信が可能になります。詳細は、「10 円メールマスター」のヘルプ、または「お読み下さい」を参照してください。

※インストールは、サポートソフトCD-ROM 内の 10mail フォルダのSetup.exe を実行してください。



注意！

1．「10 円メールマスター」を利用するには、マスターネット(株式会社ゼロ) との契約が必要です。詳細は、「10 円メールマスター」のヘルプ、または「お読み下さい」を参照してください。

● Lotus NOTES で、モバイル通信をしたい
モデム設定ファイル

サポートソフトディスクに入っている Lotus NOTES 用のモデム設定ファイルをご利用ください。利用方法は次の通りです。

サポートソフトディスクに入っている「IOMDM9664.MDM」というファイルを、Lotus Notes がインストールされているフォルダの Notes\data\modems フォルダに、コピーします。

次に、Lotus NOTES を起動し、以下のような設定を行います。

1. 「ファイル」→「ツール」→「ユーザーリファレンス...」を選択します。
2. ［ポート］をクリックします。
3. 本製品が接続されているポート（例えばCOM3）を選択します。
4. 必要に応じて［ポートを有効にする】を選択してポートを使用可能にします。
5. ［ポートオプション］をクリックします。
   ポートは、接続されているポート名です。例えば、［COM3オプション］をクリックします。
6. モデムの種類を選択します。
7. 追加するモデム設定があれば追加します。特になければ省略しても結構です。
8. ［ＯＫ］をクリックします。
9. ［ＯＫ］をクリックして、［ユーザーリファレンス］画面を閉じます。

※Lotus NOTES についてはロータス社にお問い合わせください。

4 Windows 2000 で使うには

この章では、本製品を Windows 2000 で使用する場合のインストールからインターネット接続までの方法を説明します。

インストール編（必須）

本作業は、必ず行ってください。



P55　サポートソフトのインストール

サポートソフトのインストールを説明します。



P61　インストール終了後の確認と設定

正しくインストールできたかどうかの確認と、モデムの設定を行います。



P68　インストールした情報を削除する場合

本製品の使用を止める場合や、再インストールする場合には、インストールした情報を削除します。ここではその方法を説明します。

インターネットに接続するまでの方法を説明します。インターネットを使わないときや、接続経験者は読み飛ばしても結構です。



P73　インターネットを楽しむまでの手順

インターネットへ接続する場合に、必要な作業の流れを説明します。



P74　ダイヤルアップ接続の設定

インターネットを行うときに必要な設定を行います。



P83　インターネットを楽しもう

実際に本製品を使って、インターネットへ接続してみましょう。

本製品にはいろいろなソフトが添付されています。ここでは添付ソフトの紹介や説明を行います。必要に応じてお読みください。



P87　添付ソフトを使う

添付ソフトを紹介します。

《インストール編》
サポートソフトのインストール

ここで説明するインストール作業は、はじめて本製品を接続したときだけ行います。使用する電話機に合った接続ケーブルを本製品に接続してから、インストールを始めてください。（11 ページ【接続ケーブルを取り付ける】参照）

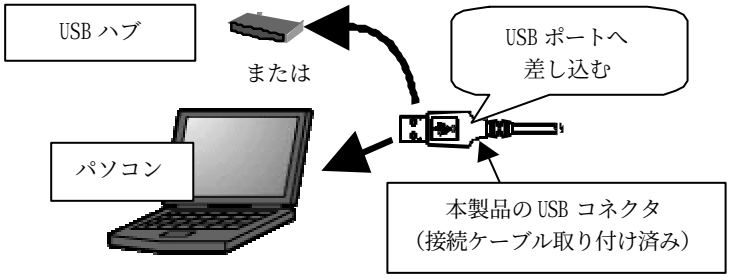
注意！

USB ポートが1つしかなく、CD-ROM ドライブをUSB ポートで使用している場合には、前もって「サポートソフト」CD-ROM ディスクのWin2000 フォルダにあるファイルをハードディスクの適当なフォルダにコピーしてください。コピー前に［表示］メニュー→［フォルダオプション］→［表示］タブを選び、「すべてのファイルを表示する」をチェックしてください。また、以下のインストール時の手順8（58 ページ）ではそのコピーしたフォルダ名を指定してください。

1 パソコンの電源を入れ、Windows 2000 を起動します。

2 パソコン（または USB ハブ）の USB ポートに、本製品の USB コネクタを差し込みます。

USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

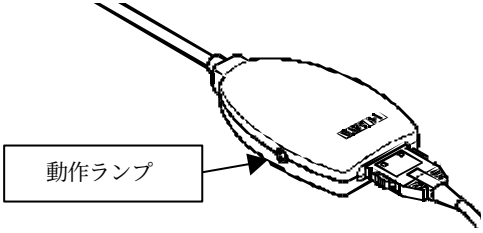


注意！

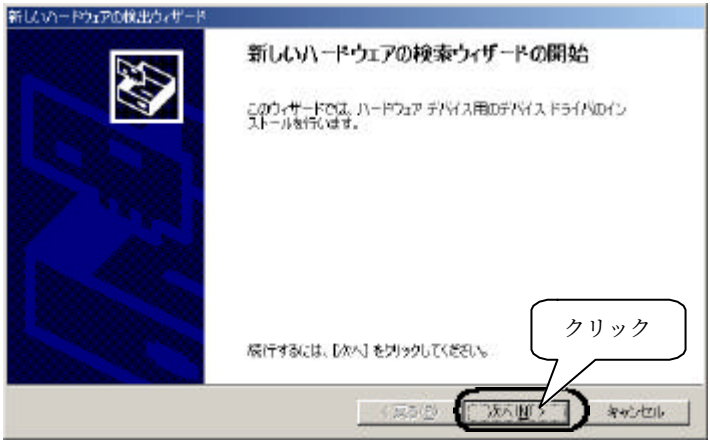
パソコン（またはUSB ハブ）のUSB ポートの位置は、お使いの機器の取扱説明書をご参照ください。

3 本製品の動作ランプが緑色に点灯することを確認します。

点灯しない場合は、正しく差し込まれていません。パソコンの USB ポートから抜いて、もう１度差し込んでみてください。



4 しばらくして下記の画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。

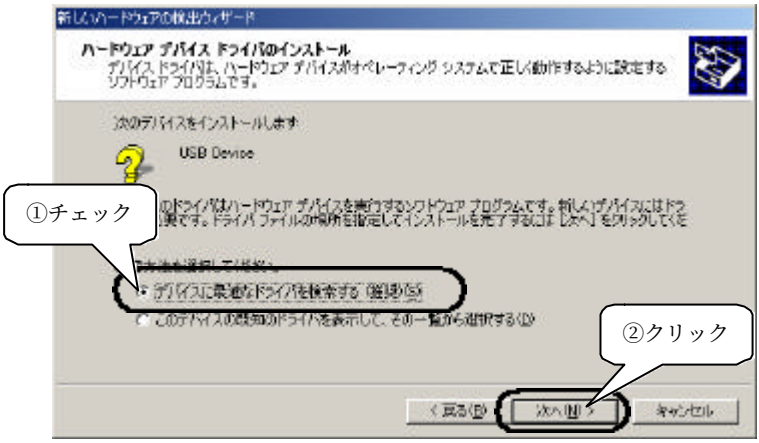


この画面が表示されない場合は…

【困ったときには】111 ページをご参照ください。

5

「デバイスに最適なドライバを検索する」をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。



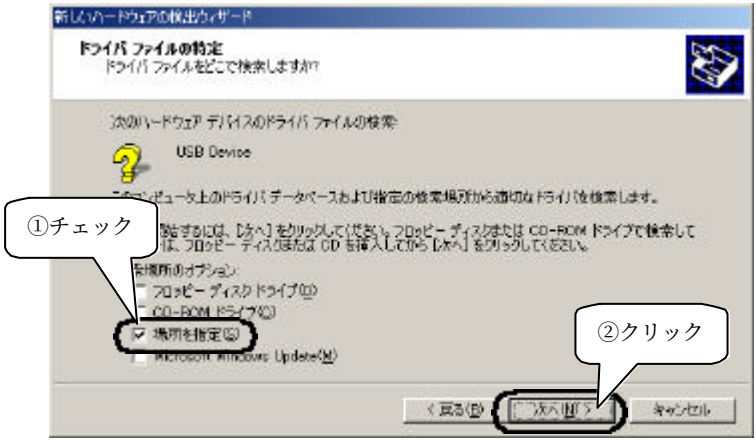
6

「サポートソフト CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。

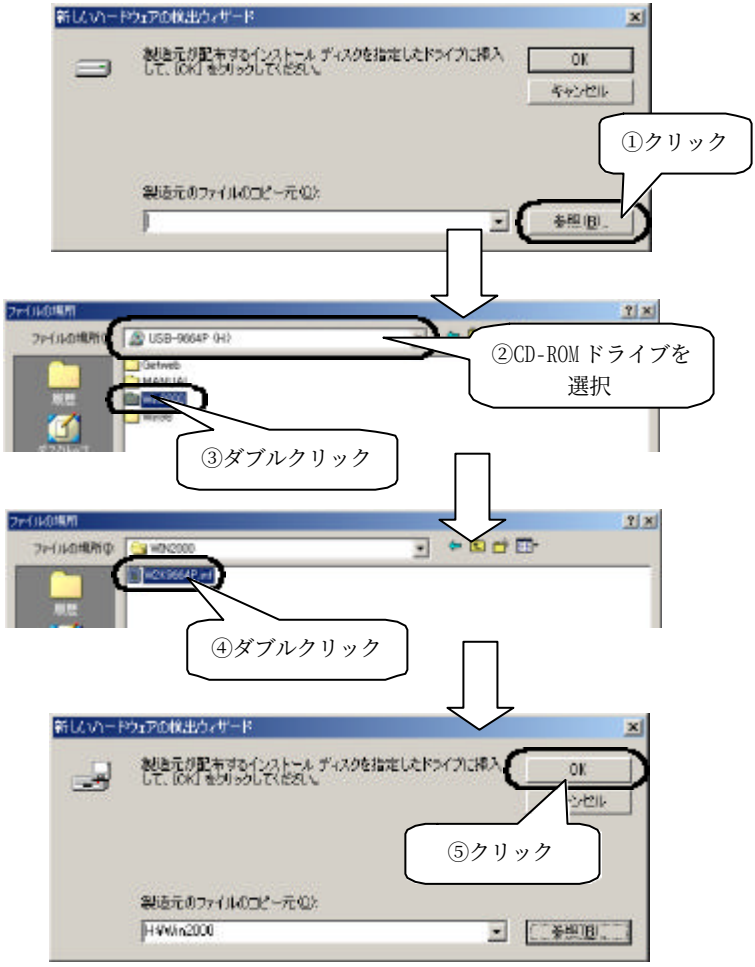


7

「場所を指定」のみにチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。



8 [参照]ボタンをクリックします。
サポートソフトを挿入したCD-ROMドライブのWIN2000フォルダを指定します。最後に[OK]ボタンをクリックします。
サポートソフトの内容をハードディスクへコピーした場合は、コピー先のフォルダ名を指定してください。



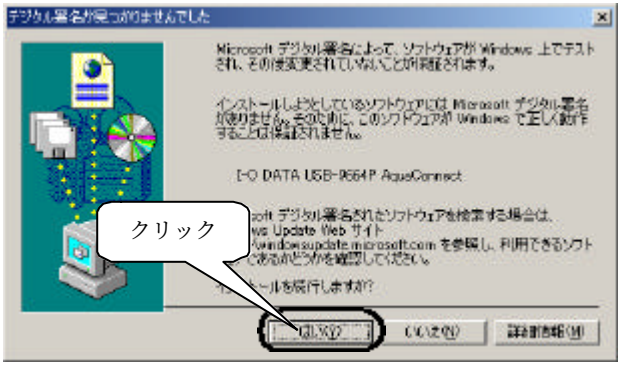
9 [次へ]ボタンをクリックします。



10 [はい]ボタンをクリックします。

マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、そのまま続行してください。

＊マイクロソフト社はWHQLという組織において、PC本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。このたびお買い上げ頂いた製品は現時点では認定を受けておりませんが、動作上はまったく問題ありません。



11 コピーを開始します。
しばらくして、下記の画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。



注意！

<u>本製品は常に同じUSB ポートへ接続してください。</u>最初にインストールを行ったUSB ポートと違うUSB ポートへ接続した場合、再度インストールが始まり、本製品が2つ認識されてしまいます。

これで、インストールは終了です。
次は正しくインストールできたかを確認し、モデムを設定します。
次ページ【インストール終了後の確認と設定】へお進みください。



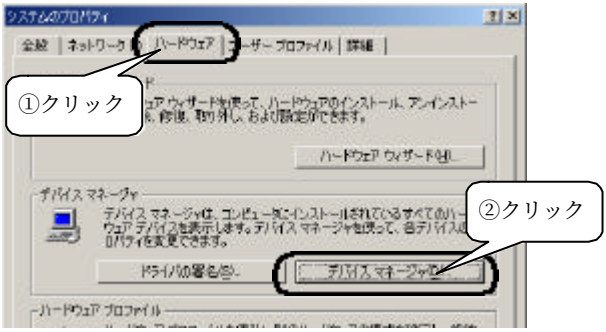
《インストール編》
インストール終了後の確認と設定

インストールが終了したら、パソコンが本製品を正しく認識したかどうかの確認と、モデムの設定を行います。

デバイスマネージャによる確認

1 [マイコンピュータ]を右クリックして、「プロパティ」を選びます。

2 [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。



3 「モデム」をダブルクリックして、
『I-O DATA USB-9664P AquaConnect』が表示されていることを確認します。



「I-O DATA USB-9664P…」が
表示されない場合は…

【困ったときには】112 ページ
をご参照ください。

4 画面右上の[×]ボタンをクリックして、画面を閉じます。

これでサポートソフトが正しくインストールされていることが確認できました。
次にモデムとしての確認および設定を行います。

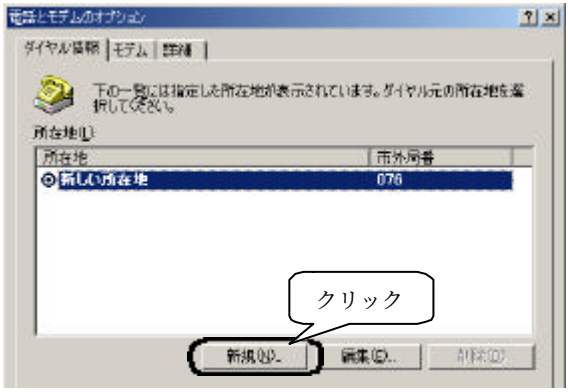
モデムの確認と設定

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[電話とモデムのオプション]アイコンをダブルクリックします。



2 [新規]ボタンをクリックします。

本製品で使用する電話機用の所在地がすでに登録されているときは、手順 **4** へ進んでください（一般公衆回線や ISDN 回線用の所在地とは設定内容が異なります。この場合は新しく所在地を追加してください）。



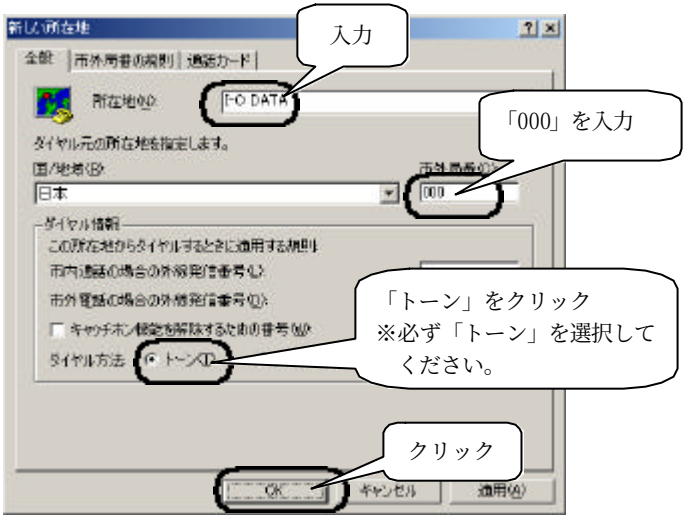
3 以下を設定後、[OK]ボタンをクリックします。

所在地・・・・・・・・・・・・任意

市内局番・・・・・・・・・・「000」などの存在しない値

電話番号と所在地情報で設定した市外局番が一致した時（つまり市内にダイヤルする時）に市外局番が自動的に省かれて発信することを避けるためです。

ダイヤル方法・・・・・・・「トーン」を選択



4 [モデム]タブをクリックし、『I-O DATA USB-9664P AquaConnect』をダブルクリックします。

接続先欄の COM の後の数字はお使いの環境によって異なります。

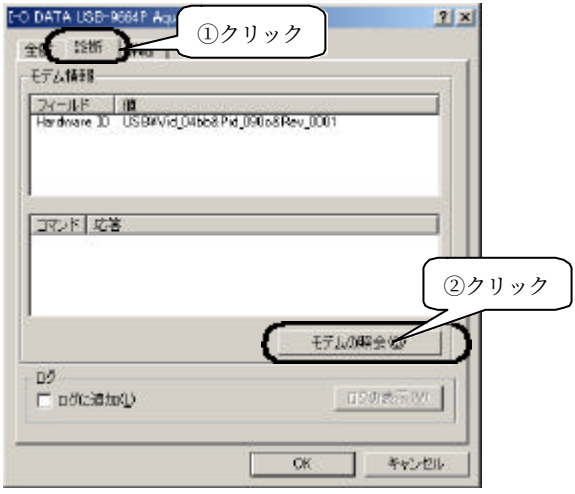


5 最高速度を、選択肢中で一番速い速度に設定します。

最高速度には選択できる速度のうち、最高の速度（115200bps以上が望ましい）を設定しておくと、最大パフォーマンスが引き出せます。
（この速度は回線速度ではなくパソコンと本製品間の速度です。）



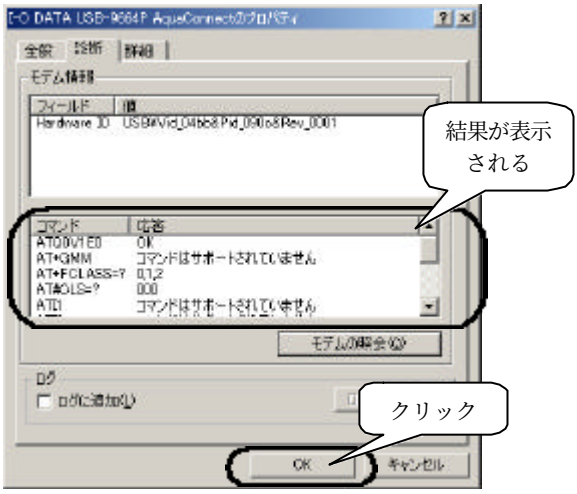
6 [診断]タブをクリックし、[モデムの照会]ボタンをクリックします。



7

「モデムと通信しています」と表示され、しばらくして下記のように表示されます。確認後、[OK] ボタンをクリックします。

コマンド応答の部分に「AT・・・・・」と英数字が表示されることを確認してください。表示されたら、本製品は正常に認識されています。



※コマンド欄に表示される内容は、ご使用の接続ケーブルによって異なります。

「ポートが開けません」などと表示された場合は…

【困ったときには】113 ページをご参照ください。

注意！

1. **この通信テストはパソコンと本製品間のテストであり、電話機を介して接続するテストではありません。**
2. **応答に「このコマンドはサポートされていません」と表示される場合がありますが、動作上問題ありません。**

8

[OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。

これで、本製品がパソコンに正しく認識され、使用できることが確認できました。
今後は本製品の USB コネクタを差し込むだけで使えるようになります。本製品を使わないときは USB コネクタを抜いても構いません。
本製品の使用を中止したいときや、もう１度インストールをやり直したいときは、68 ページからの【インストールした情報を削除する場合】を参照して、サポートソフトのアンインストールを行ってください。

AT コマンドによる追加設定が必要な場合は…

お使いの電話機や通信方式により、追加設定が必要な場合があります。
以下の場合は必ずご参照ください。

- **パケット通信対応電話機（NTT ドコモ 208/209/302 シリーズ、cdmaOne など）を使用する場合**
- **PHS、H"で 64K/32K の通信方式を替えたい場合**
- **ドッチーモを使用する場合※**

※本製品を使用してドッチーモによる通信をする場合、PDC 方式と PHS は自動的に切り替えることはできません。ここで説明する AT コマンドの入力により切り替える必要があります。

1 【追加設定が必要な場合】（124 ページ）をご参照いただき、必要な追加設定の AT コマンドをご確認ください。

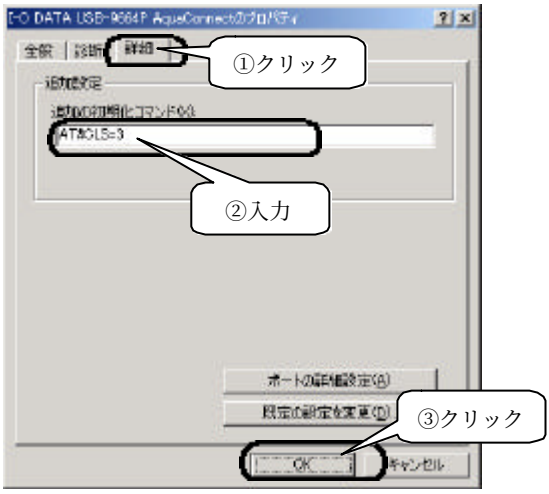
2 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、[電話とモデムのオプション]アイコンをダブルクリックします。



3 [モデム]タブをクリックし、『I-O DATA USB-9664P AquaConnect』をダブルクリックします。



4 [詳細]タブをクリックし、[追加の初期化コマンド]欄に、必要なATコマンドを入力し、[OK]ボタンをクリックします。



ドッチーモなどの複合機で、PHS 通信（フォールバックなし）をする場合の例

注意！

1. **初期化コマンド欄に入力する文字はすべて半角文字で入力してください。**
2. **初期化コマンド欄に入力するAT コマンドの意味や詳細は、サポートソフトCD-ROM のmanual フォルダにある「readme.txt」を参照してください。**

5 開いている画面をすべて閉じます。

本製品でインターネットを楽しみたい方のために、73 ページから【インターネット編】を用意しました。インターネットへの接続方法をわかりやすく説明してあります。はじめてインターネットをご使用になる方は是非、ご参照ください。

《インストール編》
インストールした情報を削除する場合

本製品の使用を中止したいときや、インストールをもう１度やり直すときは、インストールした情報を削除する（アンインストール）必要があります。

1 本製品をパソコンの USB ポートに取り付けます。

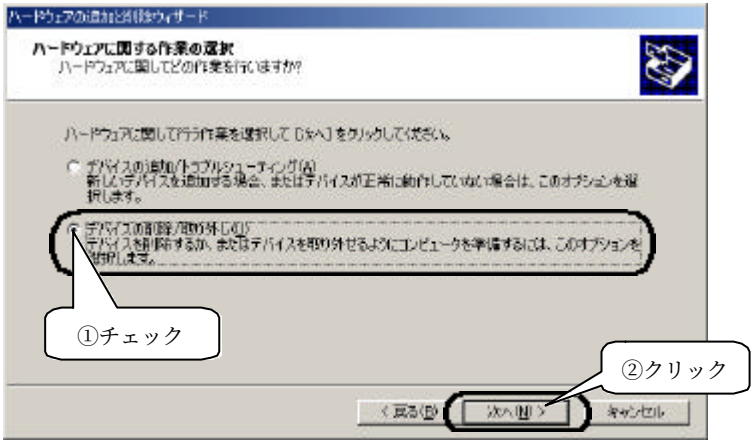
2 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を開き、
[ハードウェアの追加と削除]をダブルクリックします。



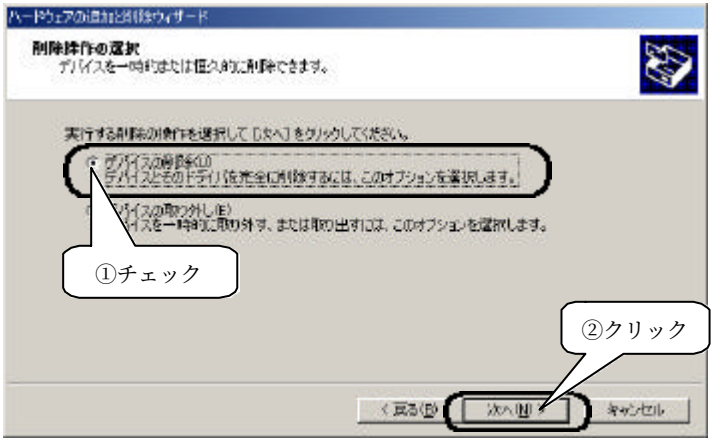
3 [次へ]ボタンをクリックします。



4 [デバイスの削除/取り外し]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



5 [デバイスの削除]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



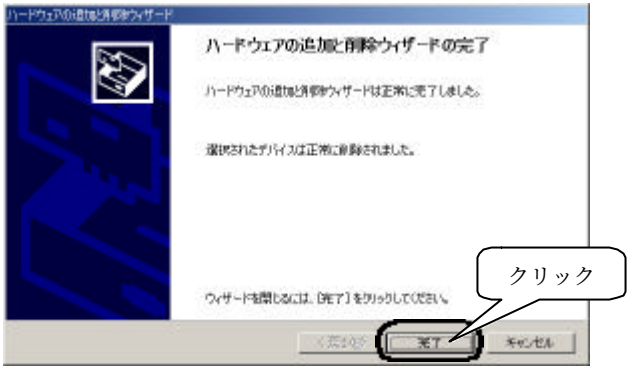
6 『I-O DATA USB-9664P AquaConnect』を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



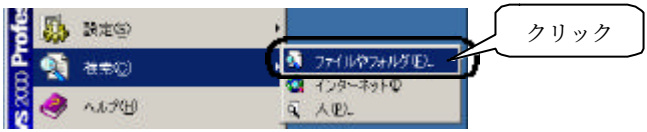
7 「はい、このデバイスを削除します」をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



8 [完了]ボタンをクリックします。

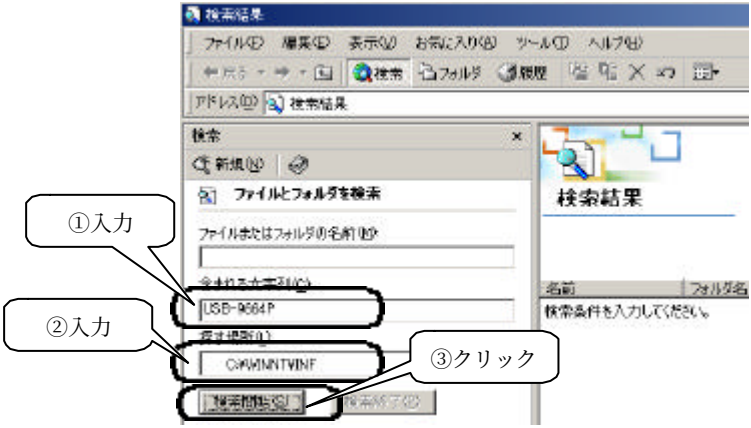


9 [スタート]→[検索]→[ファイルやフォルダ]を開きます。



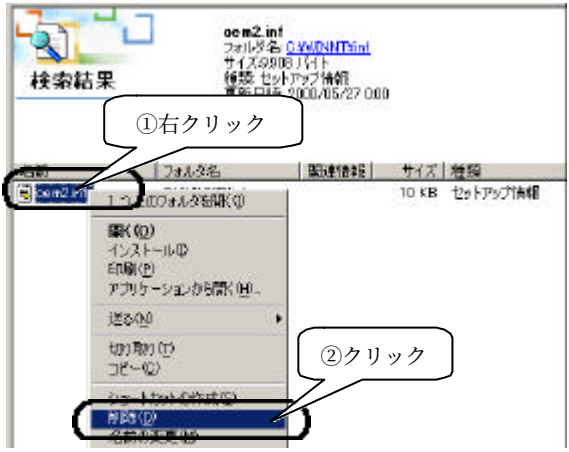
10 [含まれる文字列]に「USB-9664P」、[探す場所]に「C:\WINNT\INF」と入力して、[検索開始]ボタンをクリックします。

（Windows 2000 が C ドライブにインストールされている場合）



11 検索結果欄に表示されたファイルを右クリックして、[削除]をクリックします。

表示されるファイル名はご使用の環境により異なります。



12 本製品をパソコンの USB ポートから取り外してから、パソコンを再起動します。

これでアンインストールは完了です。



《インターネット編》
インターネットを楽しむまでの手順

ご使用のパソコンではじめてインターネットを行うときは、下記の手順通り、順番に行ってください。

プロバイダと契約する

インターネット・サービスを受けるために、商用プロバイダとダイヤルアップIP接続の契約を行ってください。
契約後、接続のためのユーザー名、パスワード、接続先の電話番号などをプロバイダから教えてもらいます。接続にはこれらの情報が必要です。

↓

ダイヤルアップ接続の設定（74ページ）

本製品を使ったダイヤルアップ接続を設定します。
本製品をはじめて使う場合は必ず行ってください。

↓

インターネットを楽しもう（83ページ）

本製品を使ってダイヤルアップし、インターネットへ接続してみましょう。

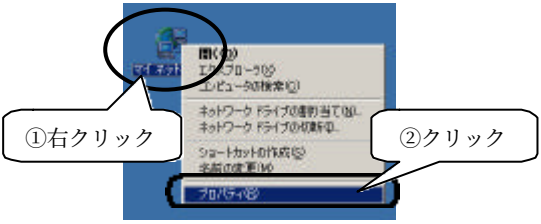
《インターネット編》
ダイヤルアップ接続の設定

すでにダイヤルアップネットワークの設定を行っていて、使用するモデムや接続先の電話番号を変更する場合は 81 ページ【設定を変更するとき】を参照してください。はじめてダイヤルアップ接続の設定を行うとき、または、以前の設定はそのまま残して新しい設定を作る場合は、下記の操作を行います。

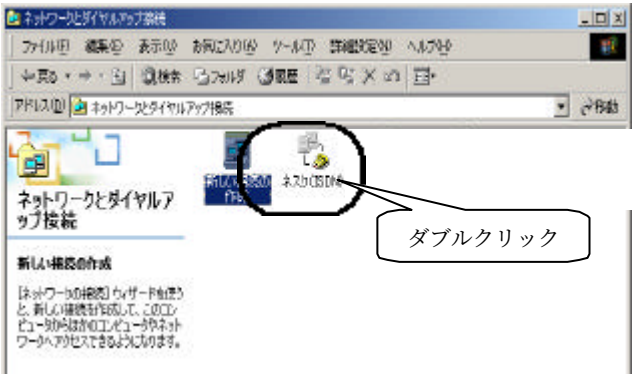
新しい設定を作るとき

インターネットプロバイダから通知されたユーザー名とパスワード、接続先の電話番号が必要です。お手元にご用意ください。

1 [マイネットワーク]を右クリックして、[プロパティ]を選択します。

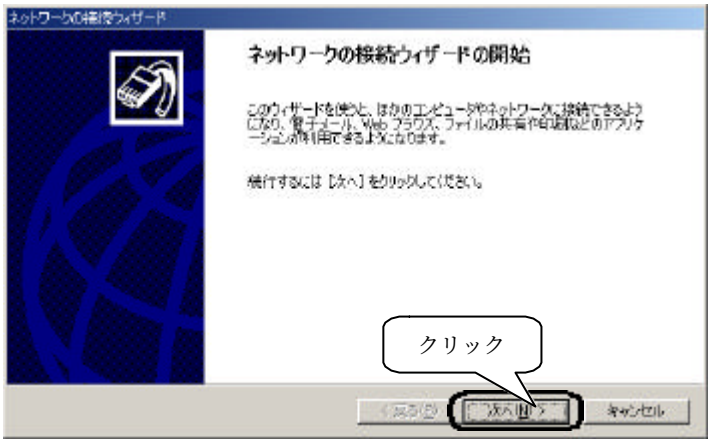


2 [新しい接続の作成]アイコンをダブルクリックします。



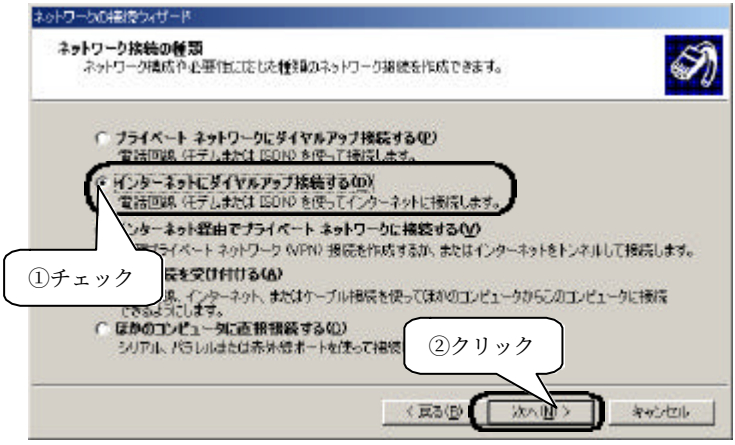
3

[次へ]ボタンをクリックします。



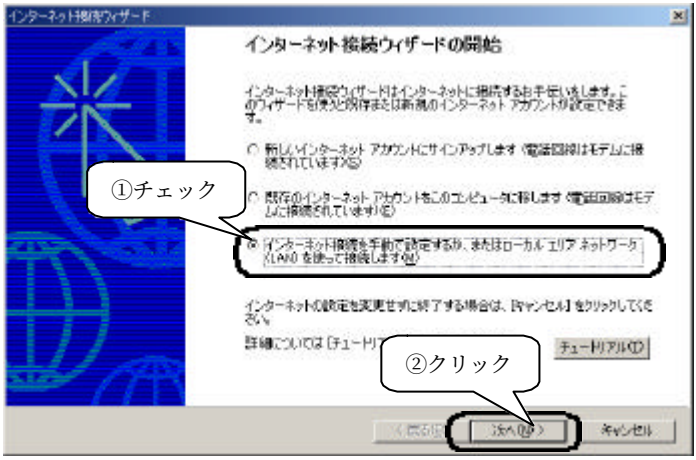
4

[インターネットにダイヤルアップ接続する]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。



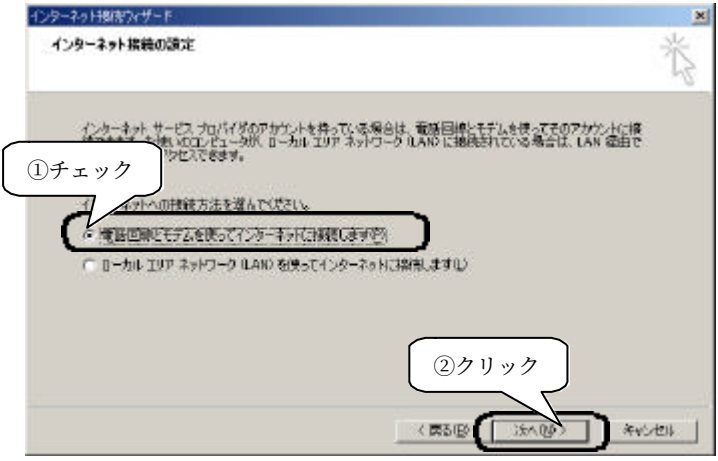
5

[インターネット接続を手動で設定する…]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。



6

[電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。



7

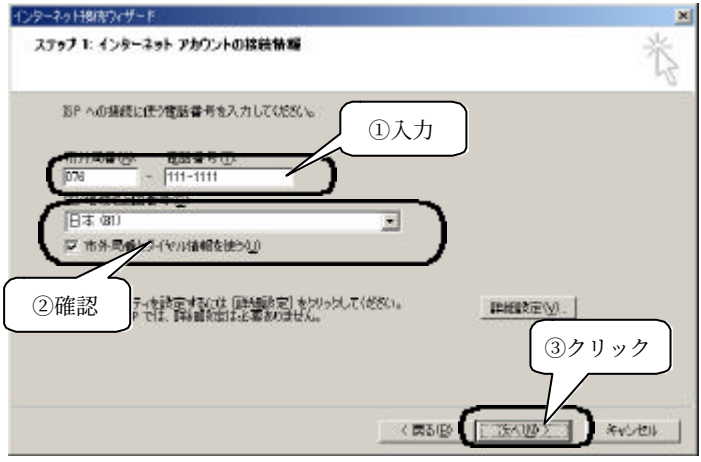
複数のモデムがインストールされている場合は、下記の画面が表示されるので、『I-O DATA USB-9664P AquaConnect』を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



8

接続先の電話番号を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

接続先の電話番号については次ページの参考を必ずお読みください。また、国名が日本になっていることも確認してください。



注意！

プロバイダ（ISP）によっては、「詳細設定」ボタンで、設定が必要な場合もあります。必要な設定内容については、契約したプロバイダにご確認ください。

参考

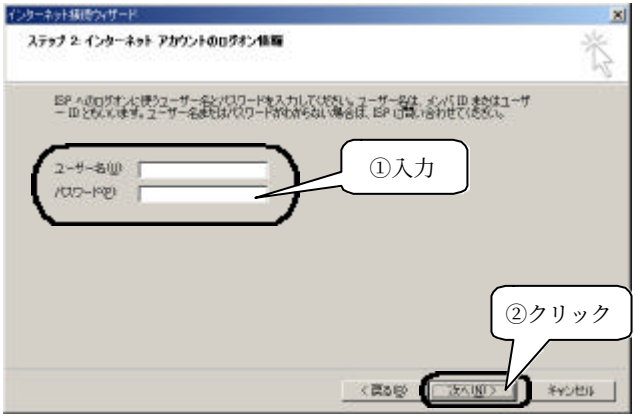
1. 設定する接続先（電話番号）はお使いの電話機や通信方式によって異なります。
・携帯電話（cdmaOne 含む）、ドッチーモでPDC 通信をするとき：
一般のモデムと同じ接続先
・PHS、H"、ドッチーモでPHS 通信をするとき：PIAFS 1.0/2.0/2.1）対応の接続先
・パケット通信をするとき：パケット通信に対応している接続先
詳しいことはプロバイダにお問い合わせください。
2. お使いの電話機や通信方式により、電話番号の末尾に追加設定が必要な場合があります。124 ページの【追加設定が必要な場合】をご参照いただき、追加設定が必要かどうかお調べください。電話番号末尾欄に設定文字が書かれている場合は、下記のように電話番号に追加してください。
なお、追加設定は新しい接続を作成した後でも行うことができます。その場合は、81 ページ【設定を変更するとき】を参照してください。



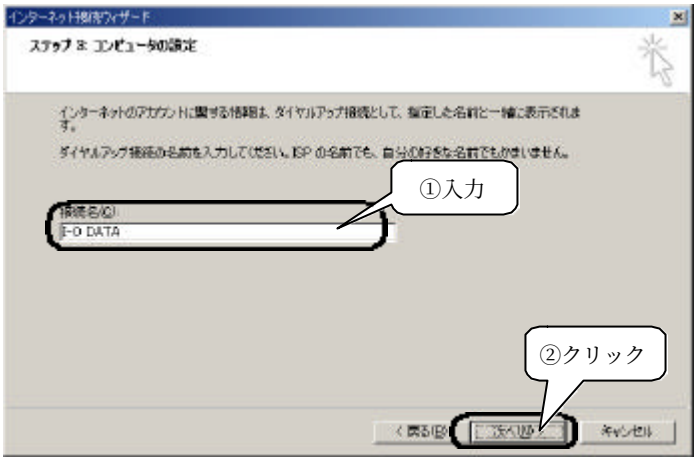
PHS で 32K 対応のアクセスポイントに接続する場合の例

9 プロバイダから通知されたユーザー名とパスワードを入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

パスワードは＊印で表示されます。間違えないように入力してください。

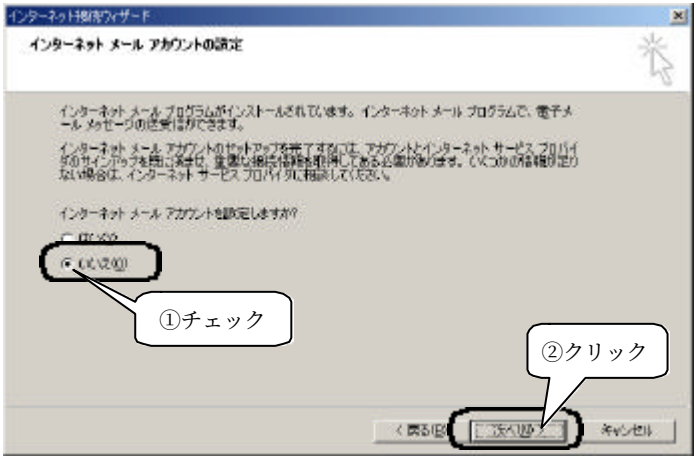


10 接続名（任意）を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

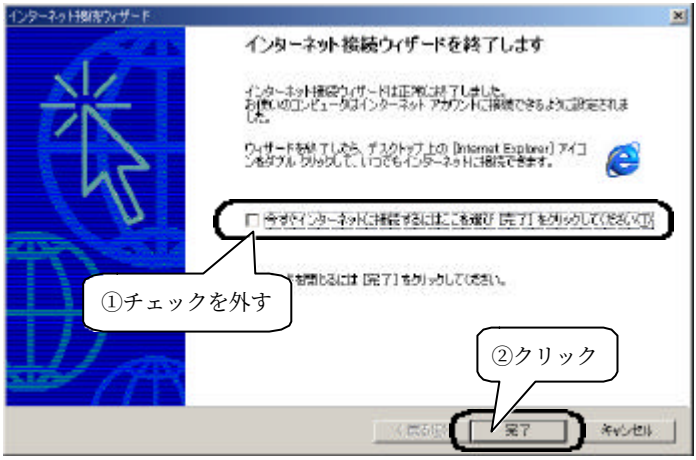


11 [いいえ]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。

メールアカウントの設定はメールソフト側で行えるので、本書では、ここで設定は行いません。



12 [今すぐインターネットに…]のをチェックを外して、[完了]ボタンをクリックします。



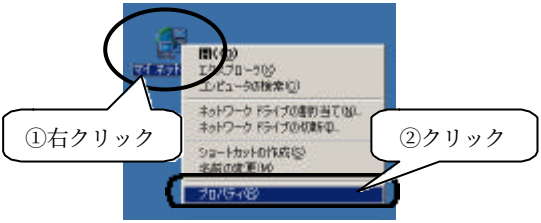
13 新しく作成された接続アイコンを確認します。



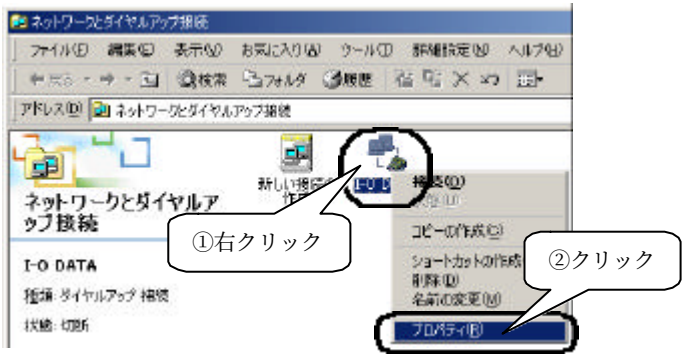
これでダイヤルアップ接続の設定は終了です。83 ページからの【インターネットを楽しもう】を参照して、実際にインターネットを行ってみましょう。

設定を変更するとき

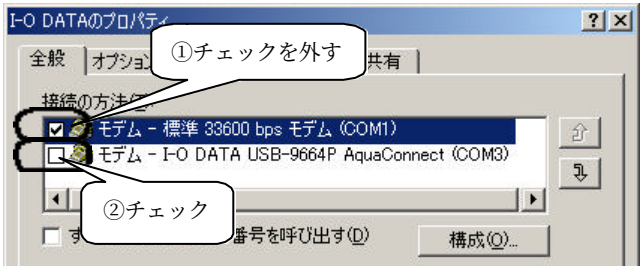
1 [マイネットワーク]を右クリックして、[プロパティ]を選択します。



2 変更したい接続のアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。



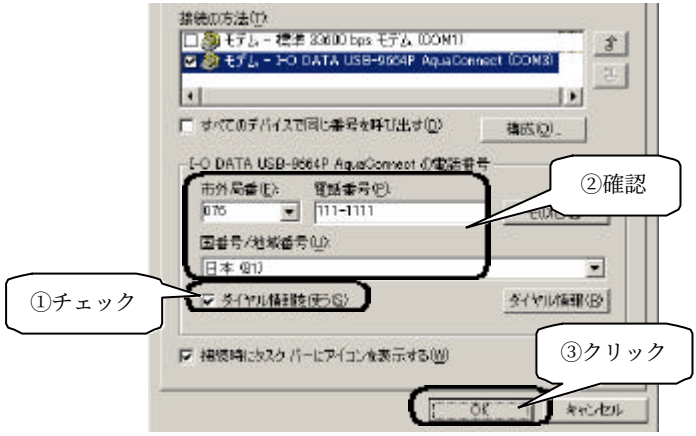
3 『I-O DATA USB-9664PAquaConnect』にチェックし、他のモデムのチェックを外します。



4

「ダイヤル情報を使う」をチェックし、接続先の電話番号や国番号を確認し、[OK]ボタンをクリックします。

接続先の電話番号については下記の参考を必ずお読みください。



参考

1. **設定する接続先（電話番号）はお使いの電話機や通信方式によって異なります。**
   ・携帯電話（cdmaOne 含む）、ドッチーモでPDC 通信をするとき：
   一般のモデムと同じ接続先
   ・PHS、H"、ドッチーモでPHS 通信をするとき：PIAFS（1.0/2.0/2.1）対応の接続先
   ・パケット通信をするとき：パケット通信に対応している接続先
   詳しいことはプロバイダにお問い合わせください。
2. **お使いの電話機や通信方式により、電話番号の末尾に追加設定が必要な場合があります。124 ページの【追加設定が必要な場合】をご参照いただき、追加設定が必要かどうかお調べください。電話番号末尾欄に設定文字が書かれている場合は、下記のように電話番号に追加してください。**



PHS で 32K 対応のアクセスポイントに接続する場合の例

これでダイヤルアップ接続の設定は終了です。次ページからの【インターネットへを楽しもう】を参照して、実際にインターネットを行ってみましょう。

《インターネット編》
インターネットを楽しもう

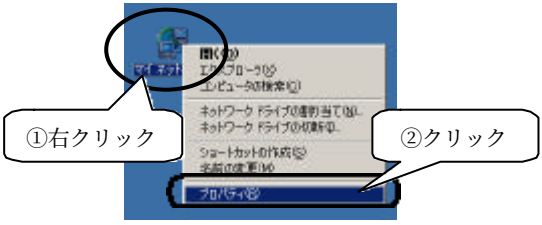
電話機を本製品に接続し、電話機の電源が入っていること、電波の状態が良好なことを確認してください。

注意！

1. **本製品の電話機への接続は、電話機の電源が入っている状態でも問題ありません。**
2. **電話機の電波が弱い場合は正常に接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることを確認してから、接続してください。**

1

[マイネットワーク]を右クリックして、[プロパティ]を選択します。



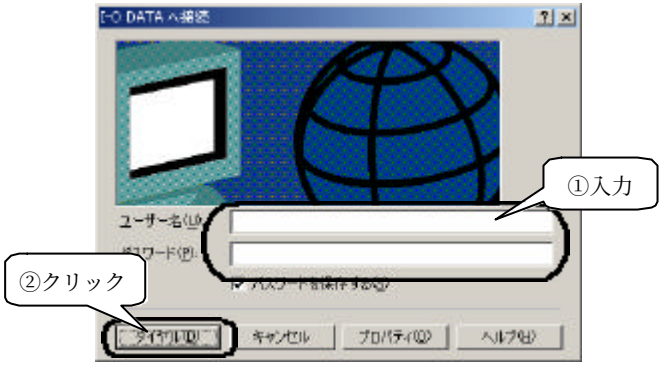
2

新しく作成した接続のアイコンをダブルクリックします。



3 プロバイダから通知されたユーザー名とパスワードを入力し、[ダイヤル]ボタンをクリックします。

[ダイヤル]ボタンをクリックすると、指定した電話番号にかかり、プロバイダと通信を開始します。電話機の液晶を確認してください。

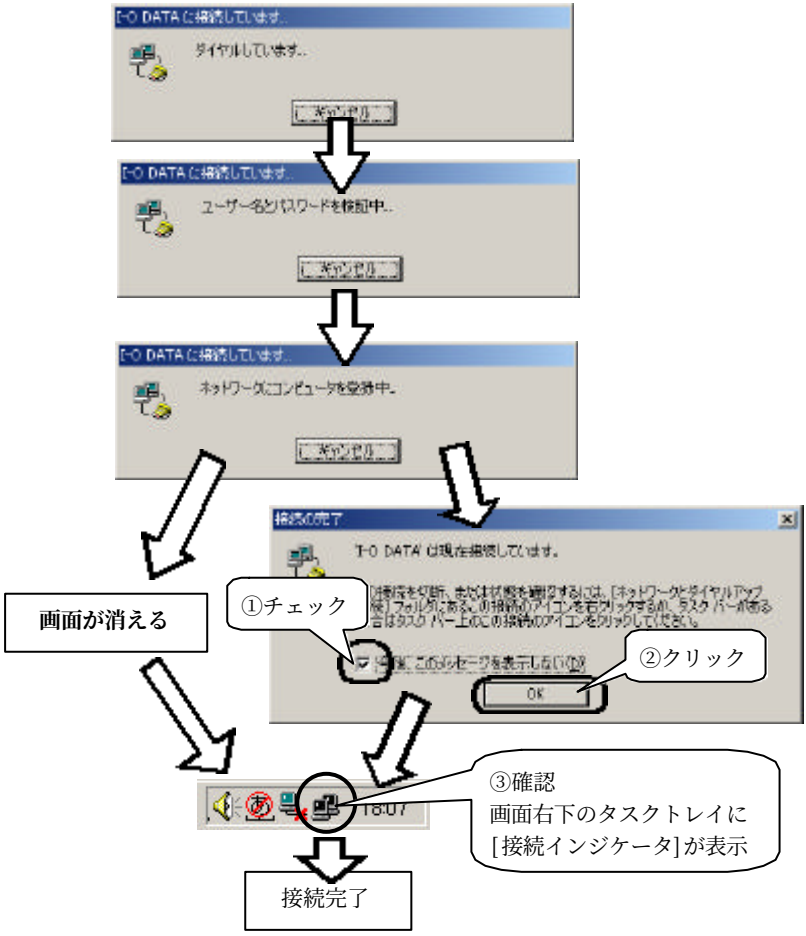


注意！

1. **パスワードは「*****」と表示され、入力内容が確認できないので、アルファベットの大文字小文字などを間違えないように注意してください。**
2. **[パスワードの保存] をチェックすると、次回からパスワードが「＊」印で表示されるので、パスワードを入力する必要がありません。セキュリティの必要に応じてお使いください。**

4 しばらくしてパソコンの画面右下のタスクトレイに[接続インジケータ]アイコンが表示されたら、接続完了です。

「…は現在接続しています」という画面が表示された場合は［今後、このメッセージを....］をチェック後、［ＯＫ］ボタンをクリックしてください。



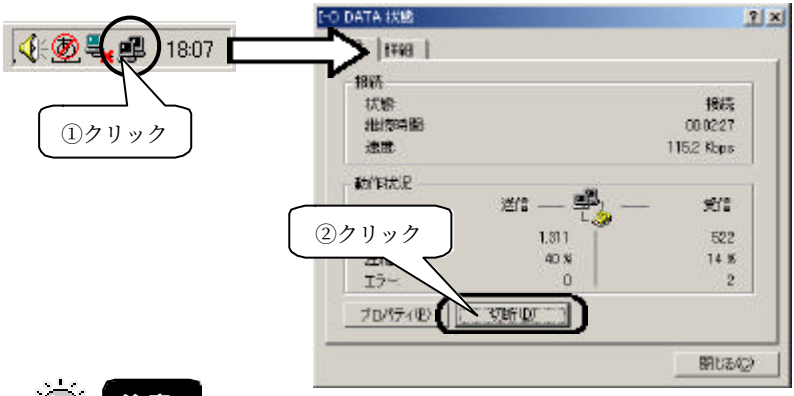
【困ったときには】119 ページをご参照ください。

5 ブラウザや電子メールソフトを起動してお楽しみください。

接続中は、ずっと[接続インジケータ]が表示されています。

6 インターネット利用が終わったら、画面右下の[接続インジケータ]をクリックし、[切断]ボタンをクリックします。

これで電話回線が切断され、画面右下の[接続インジケータ]が消えます。
電話機の通話も自動的に切断されるので、液晶表示を見て通話が終わっていることを確認してください。



注意！

1. **ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず[切断] ボタンをクリックしてください。電話機を確認して、通話が終わっていること、また、[接続インジケータ] が消えることを必ずご確認ください。**
2. **ここで表示される速度（上図の例では115.2Kbps ）はパソコンと本製品間の通信速度です（64 ページの 5 で指定した値）。**
3. **電話機の通話だけを切ってもパソコン側の通信は終了しません。必ずパソコン側で切断してください。**
4. **本製品と他のUSB 機器(USB スピーカーやUSB モデム[弊社製USB-PM560] など）を同時に使用すると、処理速度が遅くなったり、送受信時にデータ抜けが発生する可能性があります。通信中にはそれらのUSB 機器を使用しないことをおすすめします。**



インターネットをご体験いただけましたか。
これからも、本製品でインターネットをお楽しみください。

《添付ソフト編》
添付ソフトを使う

本製品に添付されているソフトのうち、以下のソフトはWindows 2000にも対応しています。使い方や内容はそれぞれ参照ページをご覧ください。

● パソコンからダイレクトにFAXを送信したい（携帯電話使用時のみ）
まいと～くFAX 2001 Lite

FAXの送受信用ソフトウェア「まいと～く FAX 2001 Lite」をご利用ください。

参照：50ページ

● 通信料を気にせず、ホームページをゆっくり見たい
Getweb!

ホームページ自動ダウンロードソフト「Getweb!」をご利用ください。

参照：51ページ

● Lotus NOTESで、モバイル通信をしたい
モデム設定ファイル

サポートソフトディスクに入っているLotus NOTES用のモデム設定ファイルをご利用ください。

参照：51ページ

MEMO

5 Macintosh で使うには

この章では、本製品を Macintosh で使用する場合のインストールからインターネット接続までの方法を説明します。

インストール編（必須）

本作業は、必ず行ってください。



P91　Mac OS のバージョンの確認

本製品は Mac OS 8.6 以降に対応です。バージョンが 8.6 以降であることを確認してください。8.6 未満の場合は、バージョンアップしてください。



P93　必要なファイルをコピーする

モデムの認識に必要な CCL ファイルなどをコピーします。



P95　パソコンへ接続する

本製品をパソコンへ接続します。



P97　インストールした情報を削除する場合

本製品の使用を止める場合や、再インストールする場合には、インストールした情報を削除します。ここではその方法を説明します。

インターネット編

インターネットに接続するまでの方法を説明します。インターネットを使わないときや、接続経験者は読み飛ばしても結構です。



P98　インターネットを楽しむまでの手順

インターネットへ接続する場合に、必要な作業の流れを説明します。



P99　接続のための設定

インターネットへ接続するために必要な設定を行います。



P103　インターネットを楽しもう

実際に本製品を使って、インターネットへ接続してみましょう。

《インストール編》
Ｍａｃ ＯＳのバージョンの確認

ご使用の Macintosh が、Mac OS 8.6 未満では本製品は使用できません。
以下の手順で、バージョンが 8.6 以降であるかを確認してください。
8.6 未満の場合には、バージョンアップしてください。

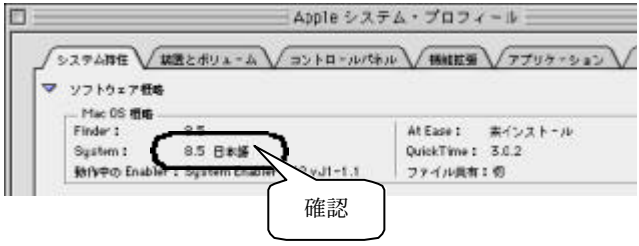
バージョンの確認

1 [Apple システム・プロフィール] を選択します。

[Apple] メニューをクリックします。開いたメニューの中に表示された [Apple システム・プロフィール] をクリックします。



2 Mac OS のバージョンを確認します。



表示されたバージョンが…

8.6 未満の
場合は…

Mac OS を 8.6 以降にバージョンアップしてください。(8.6 未満では本製品は使用できません。)
バージョンアップ後、次ページ【必要なファイルをコピーする】へ進んでください。

8.6 以降の
場合は…

次ページ【必要なファイルをコピーする】へ進んでください。

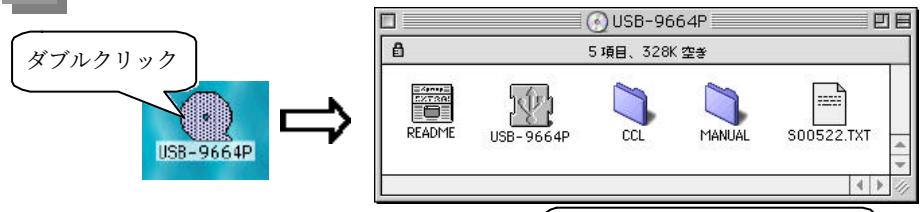
《インストール編》
必要なファイルをコピーする

この作業は、本製品をパソコン（または USB ハブ）に接続する前に行います。

1 パソコンの電源を入れ、Macintosh を起動します。

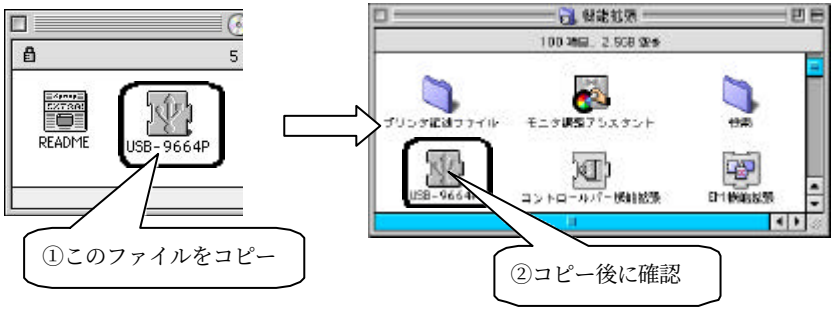
2 「サポートソフト」ディスクを CD-ROM ドライブにセットします。
CD-ROM アイコンがマウントされます。

3 CD-ROM アイコンをダブルクリックして、開きます。



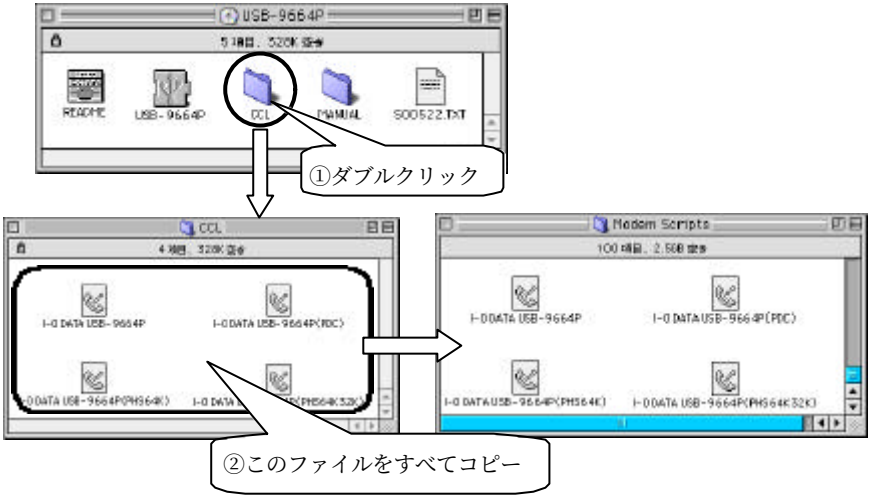
表示されるアイコンの絵は、使用しているＯＳによって異なる場合があります。

4 [USB-9664P]を「機能拡張」フォルダにコピーします。
「機能拡張」フォルダは、Mac OS がインストールされているドライブの「システムフォルダ」の中にあります。



5 [CCL]フォルダをダブルクリックして、ファイルをすべて「機能拡張」フォルダの中の「Modem Scripts」フォルダへコピーします。

「機能拡張」フォルダは、Mac OS がインストールされているドライブの「システムフォルダ」の中にあります。



これでソフトウェア側の準備はＯＫです。この作業を行うのは、はじめて本製品をお使いになるときだけです。次回からは必要ありません。

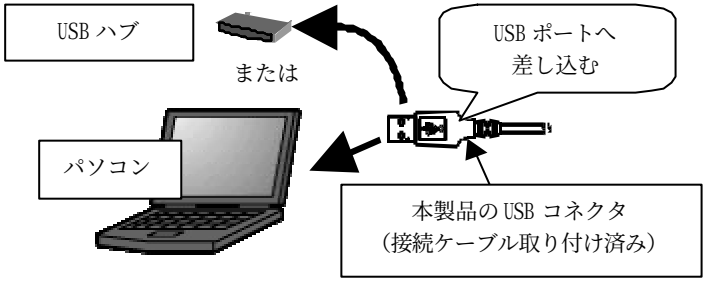
次ページへお進みください。

《インストール編》
パソコンへ接続する

本製品は Mac OS 起動後でも接続することができます。
使用する電話機に合った接続ケーブルを、本製品に接続してから、インストールを始めてください。（11 ページ【接続ケーブルを取り付ける】参照）

パソコン（または USB ハブ）の USB ポートに、本製品の USB コネクタを差し込みます。

USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。



注意！

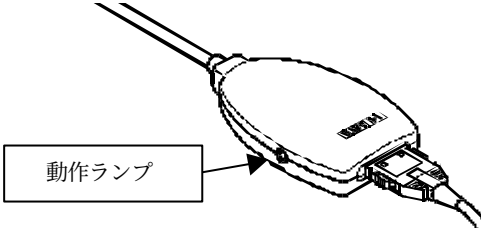
パソコン（または USB ハブ）の USB ポートの位置は、お使いの機器の取扱説明書をご参照ください。

「必要なソフトウェアが
見つかりません」
と表示された場合は…

【困ったときには】121 ページをご参照ください。

2 本製品の動作ランプが緑色に点灯することを確認します。

点灯しない場合は、正しく差し込まれていません。パソコンの USB ポートから抜いて、もう１度差し込んでみてください。



これで本製品を使う準備ができました。
本製品をインターネットで活用する場合は、98 ページ【インターネットを楽しむまでの手順】へ進んでください。

《インストール編》
インストールした情報を削除する場合

本製品の使用を中止したいときや、インストールをもう１度やり直すときは、インストールした情報を削除する（アンインストール）必要があります。

1 本製品が使用中でないことを確認し、パソコンの USB ポートから本製品のケーブルを抜きます。

2 機能拡張フォルダ内の[USB-9664P]と、「機能拡張」フォルダ→『Modem Scripts』フォルダ内の 94 ページの手順 ***5*** でコピーしたすべてのファイルをゴミ箱に入れて削除します。

※機能拡張フォルダは、Mac OS をインストールしたドライブの「システムフォルダ」の中にあります。



3 「特別」メニューの「ゴミ箱を空に…」を実行します。



《インターネット編》
インターネットを楽しむまでの手順

プロバイダと契約する

インターネット・サービスを受けるために、商用プロバイダとダイヤルアップIP接続の契約を行ってください。
契約後、接続のためのユーザー名、パスワード、接続先の電話番号などをプロバイダから教えてもらいます。接続にはこれらの情報が必要です。

↓

接続のための設定（99ページ）

「インターネット接続アシスタント」を使って、インターネット接続のために必要な設定を順番に行っていきます。
この設定を行うとき、プロバイダから教えてもらったユーザー名などの情報が必要になります。

↓

インターネットを楽しもう（103ページ）

本製品を使って、インターネットへ接続してみましょう。

では、さっそく、インターネット接続を目指して、頑張ってみましょう。



《インターネット編》
接続のための設定

下記の操作は、初めて本製品を使うときだけ行います。
すでにプロバイダ（ISP）との契約が済み、ユーザー名などの情報を持っていることを確認してから、始めてください。（以下の設定終了時には、インターネットへの接続も行いますので、電話機を本製品に接続し、電話機の電源が入っていることを確認し、電波の状態が良好なことを確認しておいてください。）

1 アップルメニューから、→[インターネットアクセス]→[インターネット接続アシスタント]を起動します。

※Mac OS9 の場合は、起動ディスク(たとえばMacintosh HD)→[インターネット]フォルダ→[インターネット接続アシスタント]アイコンを順にダブルクリックして起動します。



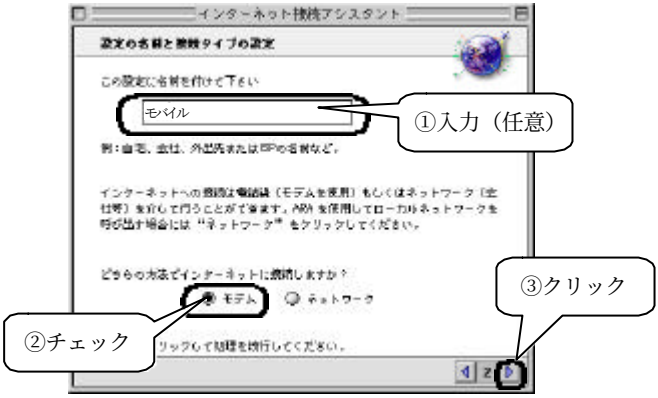
2 [はい]ボタンをクリックして処理を進め、「はじめに」が表示されたら、内容を確認して、[▶]ボタンをクリックします。



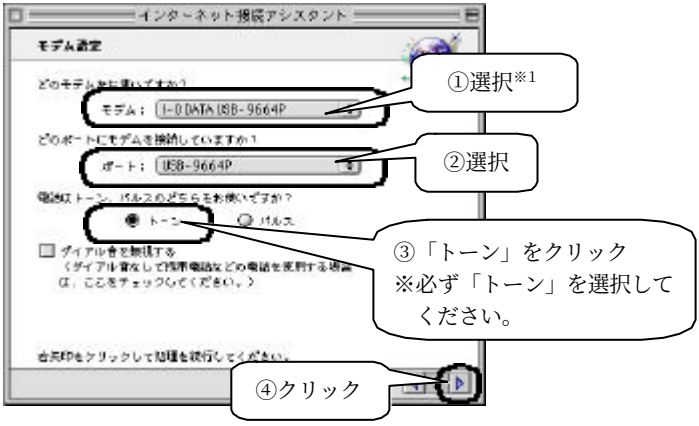
「情報がないか不適切」と表示された場合は…

【困ったときには】121 ページをご参照ください。

3 設定の名称と接続タイプを下記のように行い、[▶]ボタンをクリックします。



4 モデム設定を下記のように行い、[▶]ボタンをクリックします。



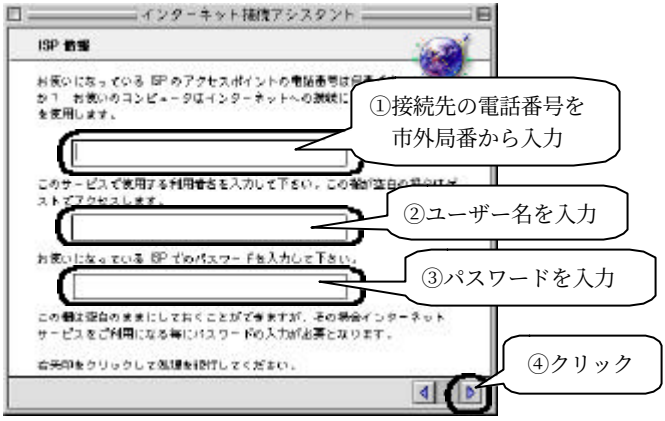
※1　ドッチーモなどの複合機で PHS 通信をする場合は他のファイルを選択します。（125 ページ参照）

モデムやポートに「USB-9664P」と表示されない場合は…

【困ったときには】122 ページをご参照ください。

5 ＩＳＰ情報（プロバイダからの通知情報）を下記のように設定し、[▶]ボタンをクリックします。

接続先の電話番号については下記の参考を必ずお読みください。入力内容がわからないときは、プロバイダにお問い合わせください。



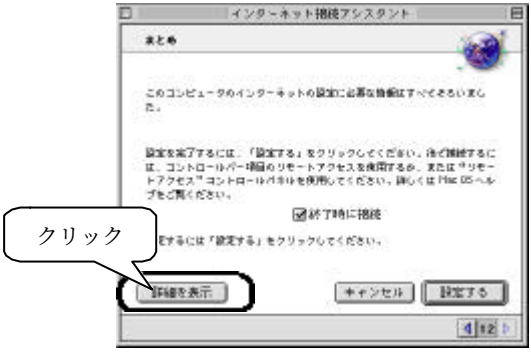
参考

1. **設定する接続先（電話番号）はお使いの電話機や通信方式によって異なります。**
   ・携帯電話（cdmaOne 含む）、ドッチーモでPDC 通信をするとき：
   一般のモデムと同じ接続先
   ・PHS、H"、ドッチーモでPHS 通信をするとき：PIAFS（1.0/2.0/2.1）対応の接続先
   ・パケット通信をするとき：パケット通信に対応している接続先
   詳しいことはプロバイダにお問い合わせください。
2. **お使いの電話機や通信方式により、電話番号の末尾に追加設定が必要な場合があります。124 ページの【追加設定が必要な場合】をご参照いただき、追加設定が必要かどうかお調べください。電話番号末尾欄に設定文字が書かれている場合は、「076-111-1111#32」（PHS で32k 対応のアクセスポイントに接続する場合の例）のように電話番号の末尾に追加してください。**

6 後は画面の指示にしたがって、適切な内容を設定してから、[▶]ボタンをクリックして、処理を進めてください。

入力内容がわからないときは、プロバイダにお問い合わせください。

7 下記の画面が表示されたら、 [詳細を表示]ボタンをクリックします。



8 表示内容を確認し、 [設定する]ボタンをクリックします。

内容に間違いがあった場合は、[◀]ボタンをクリックして、必要な設定画面に戻り、内容を修正してください。



これで、インターネット接続の準備は完了しました。
手順 ***7***の画面で「終了時に接続」がチェックされているので、この後は、自動的に接続画面が表示されます。104 ページの手順 ***2***へ進んでください。
なお、次回接続時からは次ページの手順 ***1***から始めてください。

《インターネット編》
インターネットを楽しもう

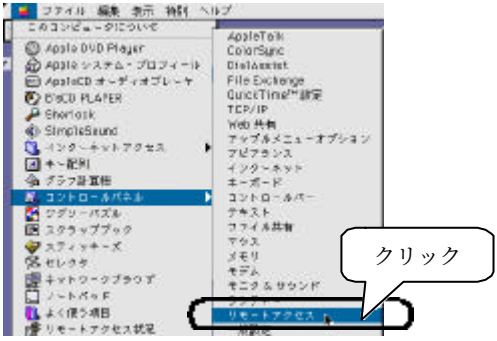
電話機を本製品に接続し、電話機の電源が入っていることを確認し、電波の状態が良好なことを確認してください。

注意！

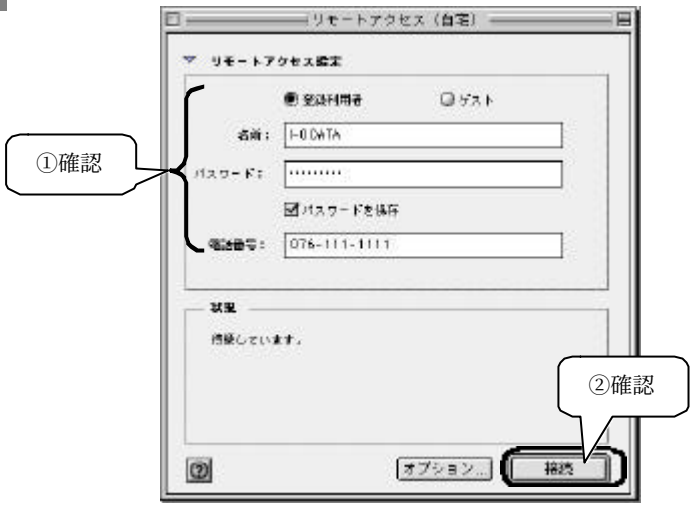
本製品の電話機への接続は、電話機の電源が入っている状態でも問題ありません。電話機の電波が弱い場合は正常に接続できなかったり、通信中に切れる場合があります。アンテナレベルが最高になっていることも確認してから、接続してください。

前ページの設定から引き続き行っているときは、手順 ***2*** から始まります。

1 アップルメニューから「コントロールパネル」→「リモートアクセス」を起動します。



2 内容を確認して、[接続]ボタンをクリックします。



3 状況欄に下記のように表示されたら、接続完了です。



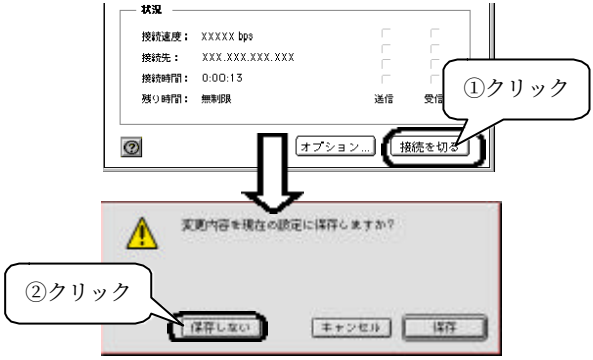
状況欄にメッセージが表示される場合は…

【困ったときには】122 ページをご参照ください。

4 ブラウザや電子メールを開いて、インターネットをお楽しみください。

5 インターネットの使用が終わったら、[接続を切る]ボタンをクリックします。

これで電話機の通話が切断され、通信が終了します。



注意！

1. **変更内容とは、前ページ手順2の内容です。接続先の電話番号やユーザー名、パスワードなどを変更してから接続した場合は[保存] ボタンをクリックしてください。次回からその内容が最初に表示されます。**
2. **ブラウザや電子メールを終わっただけでは電話回線は切断されません。必ず[接続を切る] ボタンをクリックしてください。電話機を確認して、通話が終わっていること、また、「状況」が“ 待機しています。”となっていることを必ずご確認ください。**
3. **ここで表示される接続速度はパソコンと本製品間の通信速度になります。**
4. **電話機の通話だけを切ってもパソコン側の通信は終了しません。必ずパソコン側で切断してください。**
5. **本製品と他のUSB 機器（USB スピーカーなど）を同時に使用すると、処理速度が遅くなったり、送受信時にデータ抜けが発生する可能性があります。通信中にはそれらのUSB 機器を使用しないことをおすすめします。**

インターネットをご体験いただけましたか。
これからも、本製品でインターネットをお楽しみください。



MEMO

6 付　録

ここでは、以下のことを説明します。必要に応じてお読みください。



P108　困ったときには＜目次＞

うまく取り付けできない、思ったように動作しないときなどには、同じ現象がないかどうか、まず、ここを参照ください。



P110　困ったときには＜内容＞

ここには問題の現象とその対処方法が書かれています。問題の大半はすぐに解決できることです。是非、お試しください。
なお、ここには添付ソフトの操作上の疑問などは書いてありません。添付ソフトの詳細については、ぞれぞれのオンラインマニュアルなどをご参照ください。



P124　追加設定が必要な場合

ご使用の電話機や通信方式によって追加設定が必要な場合があります。ここには、必要なケースや設定内容をまとめてあります。



P126　ハードウェア仕様

本製品の基本仕様を説明してあります。



P128　用語解説

本製品に関する基本的な用語を簡単に説明してあります。

困ったときには＜目次＞

ケーブル接続時のトラブル（Windows、Macintosh 共通編）

状態	参照頁
接続ケーブルのコネクタが本製品に入らない	110
接続ケーブルのコネクタが電話機の接続コネクタに入らない	110

状態	参照頁
本製品の USB コネクタがパソコンの USB ポートに入らない	111
本製品を接続しても「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されない	111
デバイスマネージャの「モデム」の確認で、「I-O DATA USB-9664P AquaConnect」が表示されない、または、先頭に「！」マークが付いている	112
デバイスマネージャの「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の確認で、「I-O DATA USB-9664P AquaConnect」が表示されない（Windows 98 のみ）	113
モデムの確認で[詳細情報]ボタンまたは[モデムの照会]ボタンをクリックしたとき、「ポートが開けません」と表示されたり、応答がない	113
ダイヤルアップネットワークが表示されない（Windows 98 のみ）	114
ダイヤルアップアダプタや TCP/IP が表示されない（Windows 98 のみ）	116

インターネット接続時のトラブル（Windows 編）

状態	参照頁
ダイヤルアップ接続を行っても、[接続インジケータ]が表示されない	119

状態	参照頁
本製品の USB コネクタがパソコンの USB ポートに入らない	121
「必要なソフトウェアが見つかりません」と表示される	121

インターネット接続時のトラブル (Macintosh 編)

状態	参照頁
「情報がないか不適切」と表示される	121
モデムやポートに「USB-9664P…」と表示されない	122
状況欄に「この電話番号は話し中です」と表示される	122
「利用者として認証されませんでした」と表示される	123
「お使いのモデムが正しく応答しません」と表示される	123
「搬送信号が検出できませんでした」と表示される	123

困ったときには＜内容＞

ケーブル接続時のトラブル (Windows、Macintosh 共通編)

接続ケーブルのコネクタが本製品に入らない

原因 接続ケーブルのコネクタが正しくない。

対処 接続ケーブルの両端のコネクタは形状が異なります。本製品側に差し込むコネクタかどうかを確認してください。【接続ケーブルを取り付ける】11 ページを参照してください。

原因 コネクタの向きが正しくない。

対処 コネクタの向きを変えて、もう１度差し込んでください。向きが一致していれば、コネクタを差し込むのにそんなに力は要りません。

接続ケーブルのコネクタが電話機の接続コネクタに入らない

原因 接続ケーブルが使用する電話機に合っていない。

対処 本製品は、使用する電話機によって４本のケーブルを使い分けるようになっています。どの電話機にどの接続ケーブルを使うかは【接続ケーブルの見分け方】9 ページを参照してください。

原因 コネクタの向きが正しくない。

対処 コネクタの向きを変えて、もう１度差し込んでください。向きが一致していれば、コネクタを差し込むのにそんなに力は要りません。

原因 電話機の接続コネクタが違う。

対処 電話機によって接続コネクタの位置が異なります。また接続コネクタにはカバーがかかっていますので、電話機の取扱説明書も合わせて参照してください。

インストール時のトラブル（Windows編）

本製品の USB コネクタがパソコンの USB ポートに入らない

原因 本製品の USB コネクタの向きが正しくない。

対処 コネクタの向きを変えて、もう１度差し込んでください。向きが一致していれば、コネクタを差し込むのにそんなに力は要りません。

本製品を接続しても「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されない

原因 パソコンの USB ポートに、本製品の USB コネクタがきちんとささっていない。

対処 パソコンの USB ポートに最後まできちんと本製品の USB コネクタがささっていること、動作ランプが緑色に点灯していることを確認してください。

原因 すでにインストール済みである。

対処 本製品を１度インストールすると、本製品の USB コネクタを差しこんでも「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面は表示されません。USB コネクタを差し込むだけで接続準備完了となります。

原因

本製品が誤認識さている。

対処

1. 本製品を差したまま、【デバイスマネージャによる確認】24 ページの手順 **1**，**2** を行います。
2. [その他のデバイス]が表示されていれば、その下に表示されている[不明なデバイス]または「USB Device」を選択して、[削除]ボタンをクリックします。



3. [その他のデバイス]が表示されていない場合は、[接続別に表示]をチェックして、USB ホストコントローラの下に、[不明なデバイス]または「USB Device」がないかどうか探します。あれば、そのデバイスを選択して、[削除]ボタンをクリックします。
4. 本製品をもう一度抜き差しします。ウィザード画面が表示されたら、【サポートソフトのインストール】19 ページを参照して、インストールを行ってください。

デバイスマネージャの「モデム」の確認で、「I-O DATA USB-9664P AquaConnect」が表示されない、または、先頭に「！」マークが付いている

原因

パソコンの USB ポートに、本製品の USB コネクタがきちんとささっていない。

対処

一度 USB ポートから本製品を抜き、もう一度パソコンの USB ポートに最後まできちんと本製品の USB コネクタがささるように取り付け直してみてください。
また、本製品の動作ランプが緑色に点灯していることを確認してください。

原因 正しくインストールされていない。

対処 インストールした情報をいったん削除してから、もう１度、インストールしてみてください。
Windows 98 の場合：【インストールした情報を削除する場合】31 ページおよび【サポートソフトのインストール】19 ページを参照
Windows 2000 の場合：【インストールした情報を削除する場合】68 ページおよび【サポートソフトのインストール】55 ページを参照

デバイスマネージャの「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の確認で、『I-O DATA USB-9664P AquaConnect』が表示されない (Windows 98 のみ)

原因 パソコンの USB ポートに、本製品の USB コネクタがきちんとささっていない。

対処 パソコンの USB ポートに最後まできちんと本製品の USB コネクタがささっていることを確認してください。一度 USB ポートから本製品を抜き、もう一度パソコンの USB ポートに最後まできちんと本製品の USB コネクタがささるように取り付け直してみてください。
また、本製品の動作ランプが緑色に点灯していることを確認してください。

原因 正しくインストールされていない。

対処 インストールした情報をいったん削除してから、もう１度、インストールしてみてください。
Windows 98 の場合：【インストールした情報を削除する場合】31 ページおよび【サポートソフトのインストール】19 ページを参照
Windows 2000 の場合：【インストールした情報を削除する場合】68 ページおよび【サポートソフトのインストール】55 ページを参照

モデムの確認で、[詳細情報]ボタンまたは[モデムの照会]ボタンをクリックしたとき、「ポートが開けません」と表示されたり、応答がない

原因 パソコンの USB ポートに、本製品の USB コネクタがきちんとささっていない。

対処 パソコンの USB ポートに最後まできちんと本製品の USB コネクタがささっていることを確認してください。一度 USB ポートから本製品を抜き、もう一度パソコンの USB ポートに最後まできちんと本製品の USB コネクタがささるように取り付け直してみてください。
また、本製品の動作ランプが緑色に点灯していることを確認してください。

原因 正しくインストールされていない。

対処 インストールした情報をいったん削除してから、もう１度、インストールしてみてください。

Windows 98 の場合：【インストールした情報を削除する場合】31 ページおよび【サポートソフトのインストール】19 ページを参照

Windows 2000 の場合：【インストールした情報を削除する場合】68 ページおよび【サポートソフトのインストール】55 ページを参照

ダイヤルアップネットワークが表示されない (Windows 98 のみ)

原因 ダイヤルアップネットワークがインストールされていない。

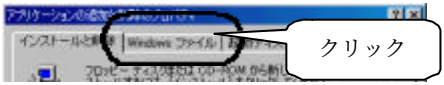
対処 下記の手順でダイヤルアップネットワークをインストールします。

1 「アプリケーションの追加と削除」を起動します。

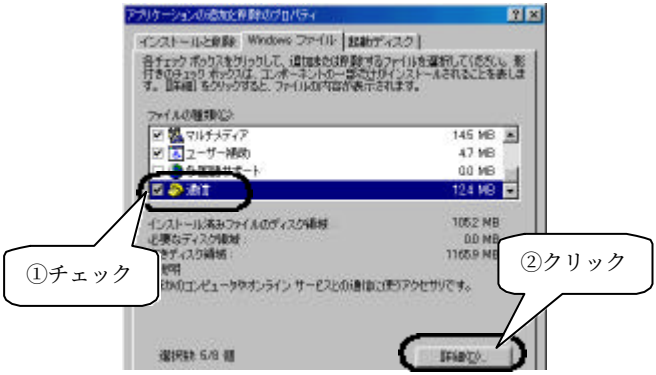
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

2 [Windows ファイル]タブをクリックします。

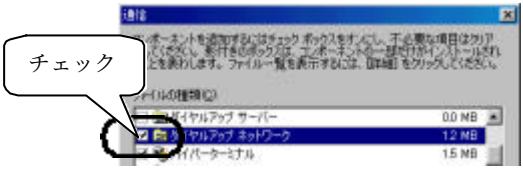
表示が切り替わるまでに時間がかかります。お待ちください。



3 [通信]をチェックし、[詳細]ボタンをクリックします。

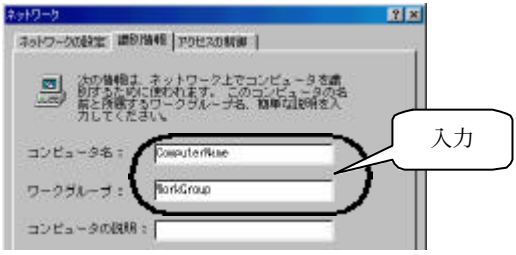


4 [ダイヤルアップ ネットワーク]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



5 前ページ **3** の画面に戻るので、[OK]ボタンをクリックします。Windows 98 の CD-ROM を用意し、画面の指示にしたがって処理を進めます。

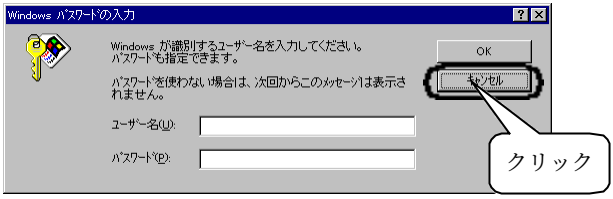
6 下記の画面になったら、コンピュータ名とワークグループ名を入力し、[閉じる]ボタンをクリックします。
これらの名称はインターネットを使うときには使用しないので、適当な名称を入力してください（「コンピュータの説明」は省略可）。



7 [OK]ボタンをクリックします。
インストールが終わったら、パソコンを再起動します。
[ケーブル接続]はインターネットを使うときには不要ですので、インストールは行いません。



8 Windows が再起動すると、下記の画面が表示されるので、[キャンセル]ボタンをクリックします。



ダイヤルアップアダプタや TCP/IP が表示されない (Windows 98 のみ)

原因 ダイヤルアップアダプタや TCP/IP がインストールされていない。

対処 下記の手順でダイヤルアップアダプタや TCP/IP をインストールします。

●「ダイヤルアップアダプタ」と「TCP/IP」の両方の表示が無い場合のインストール手順

以下の手順で「TCP/IP」をインストールすることによって、両方とも(「ダイヤルアップアダプタ」と「TCP/IP」)がインストールされます。

1 「ネットワーク」を起動します。

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

2 [追加]ボタンをクリックします。



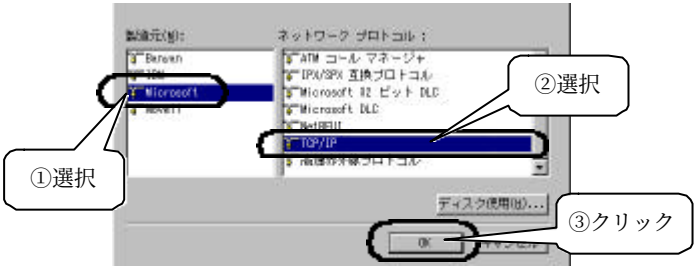
3

[プロトコル]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。



4

[Microsoft]の[TCP/IP]を選択し、[ＯＫ]ボタンをクリックします。後は画面の指示にしたがって、処理を進めてください。



5

[はい]ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。



●「ダイヤルアップアダプタ」のみ表示が無い場合のインストール手順（「TCP/IP」の表示がある場合）

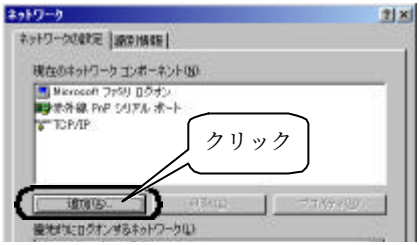
1

「ネットワーク」を起動します。

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]から、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

2

[追加]ボタンをクリックします。



3

[アダプタ]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。



4

[Microsoft]の[ダイヤルアップアダプタ]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。後は画面の指示にしたがって、処理を進めてください。



5

[はい]ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。



インターネット接続時のトラブル（Windows 編）

ダイヤルアップ接続を行っても、[接続インジケータ]が表示されない。

原因 パソコンの USB ポートに、本製品がきちんとささっていない。

対処 パソコンの USB ポートに最後まできちんと本製品の USB コネクタがささっていること、動作ランプが緑色に点灯していることを確認してください。

原因 正しくインストールされていない。

対処 正しくインストールされていることを確認してください。
Windows 98 の場合
【インストール終了後の確認と設定】24 ページを参照
Windows 2000 の場合
【インストール終了後の確認と設定】61 ページを参照

原因 電話機の電源が入っていない。

対処 電話機の電源を入れてからもう１度ダイヤルアップ接続してください。

原因 電話機の接続コネクタに、本製品が正しく接続されていない。

対処 電話機の接続コネクタをきちんと差し込んでから（カチッと音がするまで）もう１度ダイヤルアップ接続してください。

原因 所在地情報で設定した市外局番が「000」になっていない、または、ダイヤル方法（トーン）の指定が違っている。

対処 設定した内容を確認してください。
Windows 98 の場合：【モデムの確認と設定】25 ページを参照
Windows 2000 の場合：【モデムの確認と設定】62 ページを参照

原因 必要な追加設定が設定されていない。

対処 お使いの電話機や通信方式によって、AT コマンドや電話番号の末尾に追加設定が必要な場合があります。【追加設定が必要な場合】124 ページを参照して、追加設定が必要かどうかご確認ください。

原因 接続先のアクセスポイントが混雑している。

対処 時間をおいてもう１度接続するか、アクセスポイントが複数ある場合は、別のアクセスポイントの電話番号を設定してください。

原因	接続先の電話番号が違っている、または、お使いの電話機や通信方式に合ったアクセスポイントの電話番号になっていない。
対処	お使いの電話機や通信方式によって、使用するアクセスポイントの電話番号が異なる場合があります。プロバイダにお問い合わせください。電話番号を確認および変更するには下記のページを参照してください。 Windows 98 の場合：【設定を変更するとき】39 ページを参照 Windows 2000 の場合：【設定を変更するとき】81 ページを参照

原因	接続先のアクセスポイントが混雑している。
対処	時間をおいてもう１度接続するか、アクセスポイントが複数ある場合は、別のアクセスポイントの電話番号を設定してください。

インストール時のトラブル（Macintosh 編）

本製品の USB コネクタがパソコンの USB ポートに入らない

原因 本製品の USB コネクタの向きが正しくない。

対処 コネクタの向きを変えて、もう１度、差し込んでください。向きが一致していればコネクタを差し込むのに、そんなに力は要りません。

「必要なソフトウェアが見つかりません」と表示される

原因 必要なファイルを正しいフォルダにコピーしていない。

対処 ［OK］ボタンをクリックして警告画面を閉じます。
一度 USB ポートから本製品を抜きます。
その上で、【必要なファイルをコピーする】93 ページを参照して、必要なファイルとコピー先フォルダを確認してください。
確認後、OS を再起動して、本製品を取り付け直してみてください。

インターネット接続時のトラブル（Macintosh 編）

「情報がないか不適切」と表示される

原因 接続に必要なソフトウェア「リモートアクセス」がインストールされていない。

対処 画面を閉じると、「本当に終了してよろしいですか」と表示されるので、[終了] ボタンをクリックします。
下記の操作を行って「リモートアクセス」をインストールしてください。

アップルメニューから「コントロールパネル」→「機能拡張マネージャ」を開きます。

2 「リモートアクセス」に[×]印をつけて、[再起動]ボタンをクリックします。画面の指示にしたがって、インストールを行ってください。

（画面は次ページ参照）



モデムやポートに「USB-9664P」と表示されない

原因 必要なモデム設定ファイルが「機能拡張」フォルダにコピーされていない。

対処 【必要なファイルをコピーする】93 ページを参照して、「機能拡張」フォルダに必要なモデム設定ファイルをコピーしてください。

状況欄に「この電話番号は話し中です」と表示される

原因 本製品に取り付けた電話機の「通話」ボタンをクリックしている。

対処 「HOLD」で通話を切り、電話機を切ってから、再度、[接続]ボタンをクリックしてください。。

原因 接続先のアクセスポイントが混雑している。

対処 時間をおいてから、再度[接続]ボタンをクリックするか、アクセスポイントが複数ある場合は、別のアクセスポイントの電話番号を入力してから[接続]ボタンをクリックしてください。

原因 ダイヤル方法（トーン）の指定が違っている。

対処 ダイヤル方法が「トーン」になっているか確認してください。
（【接続のための設定】の手順 ***4***（100 ページ）参照）

「利用者として認証されませんでした」と表示される

原因	ユーザー名やパスワードが違っている。
対処	[OK]ボタンをクリックして警告画面を閉じてください。 アルファベットの大文字や小文字に注意してユーザー名やパスワードを入力し、[接続]ボタンをクリックしてください。正しく入力してもこの画面が表示されるようなら、プロバイダにユーザー名やパスワードを確認してください。

「お使いのモデムが正しく応答しません」と表示される

原因	モデムが正しく接続されていない。
対処	[OK]ボタンをクリックして警告画面を閉じてください。 本製品のUSBコネクタが正しく接続されているかどうか、本製品の動作ランプが緑色に点灯していることをご確認ください。 正しく接続後,再度[接続]ボタンをクリックします。

「搬送信号が検出できませんでした」と表示される

原因	接続先の電話番号が違っている。PHSやH"をご使用の場合、アクセスポイントがPIAFS対応になっていない。
対処	プロバイダに電話番号を確認してください。 また、市外局番から電話番号が入力されていることも確認してください。

追加設定が必要な場合

お使いの電話機や通信方式により追加設定が必要な場合があります。下記の表を参照いただき、追加設定が必要な場合は、設定方法のページを参照して設定を行ってください。

■追加設定の方法■

- Windows 98 の場合
  - ・AT コマンドによる設定：28 ページ参照
  - ・電話番号末尾による設定：36 ページまたは 39 ページ参照
- Windows 2000 の場合
  - ・AT コマンドによる設定：66 ページ参照
  - ・電話番号末尾による設定：77 ページまたは 82 ページ参照
- Macintosh の場合
  - ・電話番号末尾による設定：101 ページ参照
  - ・モデム（CCL ファイル）の選択による設定：100 ページ参照

■追加設定が必要なケース（AT コマンド/ 電話番号末尾による設定）■

「AT コマンド」と「電話番号末尾」の両方に設定内容が書いてある場合はどちらかの方法で設定してください。（両方行う必要はありません。）

「×」は、電話番号末尾への付加による設定はできないことを示します。

ケース	AT コマンド	電話番号末尾
NTT ドコモの 208・209・302 シリーズで PDC 通信（データ通信）をする	AT#CLS=1	J
パケット通信対応機で PDC 通信（データ通信）をする	AT#CLS=1	J
PHS の PIAFS 64K 対応機で、32K のみ対応のアクセスポイントに接続する（32K に固定）	ATS141=0	#32
PHS でフォールバックする場合（64K→32K）	ATS142=1	×

ケース	AT コマンド	電話番号末尾
H"またはα-DATA32 の PIAFS 64K 対応機で、32K のみ対応のアクセスポイントに接続する（32K 固定）	ATS141=0	##3
ドッチーモなどの複合機で PHS 通信をする（フォールバック※なしの場合）	AT#CLS=3	×
ドッチーモなどの複合機で PHS 通信をする（フォールバックありの場合）	AT#CLS=3S142=1	×

※「フォールバック」：通信状況などにより、指定した速度で通信できない場合、自動的に速度を落として通信する機能をいいます。フォールバックしない場合、指定速度で通信ができない場合は、通信不可となります。

■追加設定が必要なケース（モデムの選択による設定）■

Macintosh の[モデム]画面で、使い方に応じたモデムを選択してください。

ケース	モデム（CCL ファイル）
NTT ドコモの 208・209・302 シリーズで PDC（データ）通信をする	I-O DATA USB-9664P(PDC)
64K 対応の PHS でフォールバックする	I-O DATA USB-9664P(PHS64K32K)
ドッチーモなどの複合機で PHS 通信をする（フォールバックなしの場合）	I-O DATA USB-9664P(PHS64K)
ドッチーモなどの複合機で PHS 通信をする（フォールバックありの場合）	I-O DATA USB-9664P(PHS64K32K)



参考

入力するAT コマンドの意味や詳細は、サポートソフト CD-ROM のmanual フォルダにある「readme.txt」を参照してください。

ハードウェア仕様

■ PDC方式接続時(データモード)

通信回線	1回線
適用回線	デジタル携帯電話回線（PDC方式） NTTドコモパケット通信回線
制御コマンド	ATコマンド準拠
回線接続方式	16芯プラグ
通信方式	全二重
同期方式	調歩同期式（非同期）
通信速度	携帯電話通信：最高9600bps パケット通信：最高28800bps
通信規格	RCR STD-27F準拠

■ PDC方式接続時(FAXモード)

通信方式	半二重
同期方式	調歩同期式（非同期）
通信速度	最高9600bps
通信規格	RCR STD-27F準拠
通信制御手順	G3/EIA class 1、class 2

■ cdmaOne方式接続時

通信回線	1回線
適用回線	cdmaOne携帯電話回線
制御コマンド	ATコマンド準拠
回線接続方式	18芯プラグ
通信方式	全二重
同期方式	調歩同期式（非同期）
通信速度	携帯電話通信：最高14400bps パケット通信：最高64000bps
通信規格	ARIB STD-T53、IS-707、IS-99準拠

■ DDIポケット端末（H"、feelH"、α-DATA32対応電話機）接続時

通信回線	1回線
適用回線	DDIポケット電話回線
制御コマンド	ATコマンド準拠
回線接続方式	12芯プラグ
通信方式	全二重
同期方式	調歩同期式（非同期）
通信速度	PIAFS 2.1：最高64000bps（実効速度58400bps） PIAFS 1.0：最高32000bps（実効速度29200bps）
通信規格	PIAFS 1.0/2.1,RCR STD-28準拠

■ PHS接続時

通信回線	1回線
適用回線	PHS電話回線 （NTTドコモ、アステルグループ）
制御コマンド	ATコマンド準拠
回線接続方式	16芯プラグ
通信方式	全二重
同期方式	調歩同期式（非同期）
通信速度	PIAFS 2.0：最高64000bps（実効速度58400bps） PIAFS 1.0：最高32000bps（実効速度29200bps）
通信規格	PIAFS 1.0/2.0,RCR STD-28準拠

■ 一般仕様

端末インターフェイス	USB Spec 1.0準拠
電源電圧	バスパワー/5.0V
消費電流	100mA(Max)
使用温度湿度範囲	温度：0～40℃（パソコンの動作温度範囲であること） 湿度：35～90％（ただし、結露なきこと）
ケーブル長	約20cm
質量	約40g（接続ケーブルを除く）

用語解説

PDC（ピーディーシー） *(Personal Digital Cellular)*

デジタル電話機に関する日本国内の通信方式。TDMA方式という時分割多重接続を採用。これに対し、cdmaOneではCDMA方式という符合分割多重接続を採用しています。

PIAFS（ピアフ） *(PHS Internet Access Forum Standard)*

PHSや*H"*などの端末を使ったデジタルデータ通信規格。PIAFSプロトコルという専用のプロトコルを使い、接続先がPIAFS対応の場合はわずか１秒程度で認識が完了します。
32KbpsでPIAFS1.0と、64KbpsでPIAFS2.0（*H"*端末の場合はPIAFS２.１）の２つの規格があります。

USB（ユーエスビー） *(Universal Serial Bus)*

パソコンと周辺機器を接続する規格の１つ。パソコンと電話回線の接続性向上、接続のしやすさ、増設のしやすさなどを主な目的として1995年に公開されました。

- コネクタ形状の一元化により、周辺機器のインターフェイスが統一される。
- デスクトップパソコンでもノートパソコンでも使用できる。
- Hot Plug対応でパソコン起動中でも抜き差しできる。
- USBポートから電源供給が可能である。
- 複数のIRQを使用しないので機器間の競合が少なくなる。

などの特長を持っています。
転送速度は、高速用に12Mbps（シールド付きケーブルで最長５mまで）と、低速用に1.5Mpbsの２種類ある。本製品は1.5Mbpsタイプ。

bps（ビーピーエス） *(Bit per Second)*

データ通信速度の単位。１秒間に送受信できるビット数を表わします。
例）9600bps は１秒間に 9600bit の情報（データ）を送受信。

COM ポート（コムポート）

Windows ではシリアルインターフェイスを COM ポートと呼びます。

ITU-T（アイティーユー・ティー）

ITU（国際通信連合）の付属機関である国際電信電話諮問委員会(旧CCITT)を指します。国際通信に関する審議と勧告を行います。

PPP（ピーピーピー）　*(Point-to-Point Protocol)*

同期および非同期式のポイント・ツー・ポイント・シリアルリンク回線方式に関するパケット通信規約。不特定多数の人が、たまにしか利用しない場合に、IP アドレスを一義的に割り当てるのは不経済なため、PPP では利用時に一時的に割り当てる方式をとります。ダイヤルアップネットワークのための IP 接続用の通信規約で、ファイルやデータの転送が可能です。

TCP/IP（ティーシーピーアイピー）　*(Transmission Control Protocol/Internet Protocol)*

Advanced Research Projects Agency(ARPA)によって開発されたプロトコル（＝通信規約）一式。主にネットワーク層プロトコル(IP)と、トランスポートプロトコル(TCP)を含みます。インターネットでは一般的に使われています。

プロトコル

通信規約。コンピュータ同士が相互で通信を行うための様々な取り決め（通信速度や通信方式、エラーチェックの方法、データの形式など)。

プロバイダ（インターネットサービスプロバイダ、ISP）

一般的に言うプロバイダとは、インターネットへの接続サービスを行っている接続業者のことです。正式にはインターネットサービスプロバイダ（ISP）と言います。インターネットを利用するためには、利用者もしくは所属する組織が各種学術研究ネットワークに加入するか、ISP と呼ばれる接続業者に加入する必要があります。

PLANT コールセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及び FAX 番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアのシリアル No.
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用の OS とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

インターネット　　http://www.iodata.co.jp/support/

■郵便

〒920-8513　石川県金沢市桜田町２丁目８４番地　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
PLANT コールセンター「USB-9664P」係宛

■電話

電話番号　　東京　03-3254-1144
金沢　076-260-3644
受付時間　9:30～19:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

■FAX

FAX 番号　　東京　03-3254-9055
金沢　076-260-3360
宛先　　株式会社アイ・オー・データ機器
PLANT コールセンター「USB-9664P」係　宛

本製品に関するお問い合わせは、PLANT コールセンターのみで行っています。
あらかじめご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/　→「サポートライブラリ」

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。(送料及び手数料はお客様負担)

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町２丁目８４番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「USB-9664P」 サービス窓口　宛
電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

■ご注意

●パソコン通信によるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。
●このサービスへのご質問は、弊社PLANT コールセンターやバージョンアップ窓口ではお受けできません。

保証について

■保証期間

保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

- 本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
- 本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータにつきましては、故障症状確認の際にすべて消去されます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『PLANT コールセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。
- 修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町２丁目８４番地　アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「USB-9664P」 修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせ窓口

受付窓口	**「USB-9664P」　サービス窓口**
電話番号	**金沢　076-260-3663**
受付時間	**9:30～12:00　13:00～17:00** **月～金曜日（祝祭日を除く）**

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、上記までお問い合わせください。